

北海道横断自動車道（蘭越～俱知安）

第2回 説明資料

令和4年10月12日

国土交通省 北海道開発局

目 次

- 1. 計画段階評価の検討の流れ**
- 2. 第1回地域意見聴取結果**
- 3. 地域意見を踏まえた政策目標**
- 4. 路線の整備方針（案）**
- 5. 第2回地域意見聴取方法**

1 . 計画段階評価の検討の流れ

1-1) 北海道の高規格道路網

- 北海道横断自動車道(根室線)は、黒松内町を起点として、札幌市、帯広市、釧路市等を経由し、根室市へ至る道路で、蘭越～俱知安間はその一部区間。
- 当該区間は、蘭越町と俱知安町を結び、事業中の俱知安余市道路に続く延長約25kmの区間。

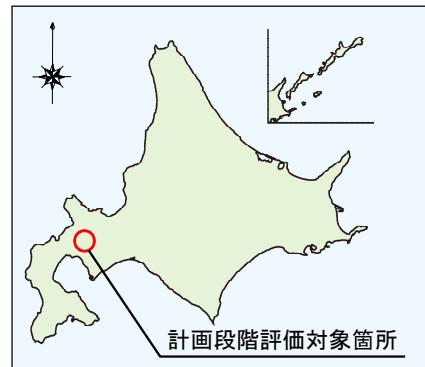
凡 例
開 通 区 間
事 業 中 区 間
調 査 中 区 間
総 合 振 興 局 振 興 局



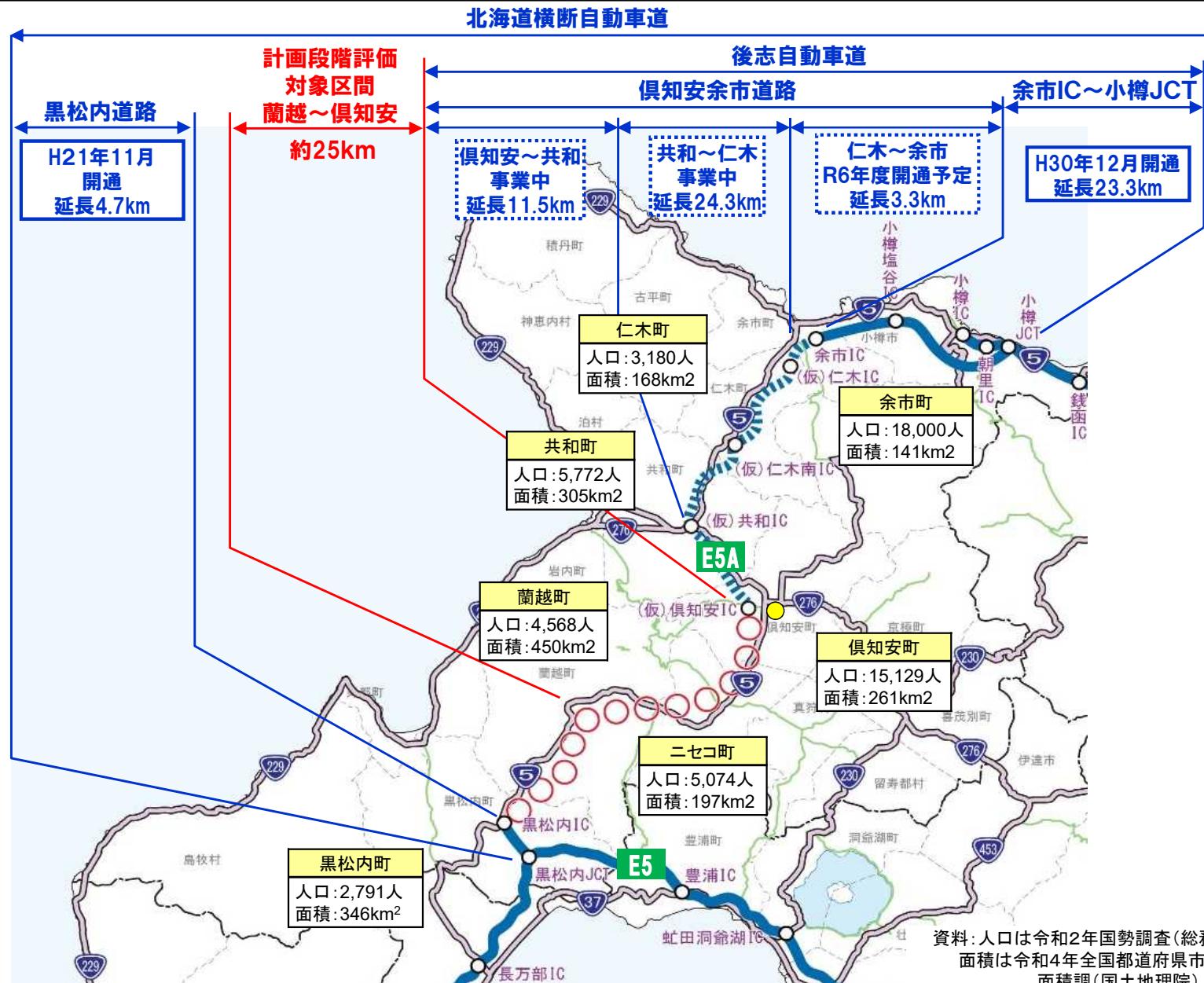
1-2) 北海道横断自動車道の進捗

- 後志自動車道は、余市IC～小樽JCT間が開通済み(平成30年12月開通)。
- 俱知安余市道路が現在事業中であり、うち(仮称)仁木IC～余市IC間が令和6年度に開通予定。

▼位置図



凡 例
開 通 区 間
事 業 中 区 間
調 査 中 区 間
総 合 振 興 局 振 興 局



1-3) 計画段階評価の手続きの進め方(案)

- 令和3年12月15日から約2ヶ月半の間、地域意見聴取を実施。
- 本委員会は地域意見聴取を踏まえた政策目標の設定および、路線の整備方針等について議論。

【令和3年11月25日】

北海道
地方小委員会

- 【審議内容】
 - 計画段階評価手続きの進め方
 - 地域・道路の現状と課題
 - 地域意見聴取方法(案)

【令和3年12月15日
～令和4年3月4日】

地域意見聴取
(第1回)

- 地域・道路の課題
 - ◆意見聴取方法
<ヒアリング>
対象者
 - ・沿線自治体等
 - ・関係団体
<アンケート>
対象者
 - ・地域住民
 - ・道路利用者
 - ・観光客

今 回

北海道
地方小委員会

- 【審議内容】
- 地域意見聴取の結果
 - 地域意見を踏まえた路線の政策目標
 - 地域意見を踏まえた路線の整備方針(案)
 - 比較ルート(案)
(複数案)
 - 地域意見聴取方法(案)

地域意見聴取
(第2回)

- 路線の整備方針
 - ◆意見聴取方法
<ヒアリング>
対象者
 - ・沿線自治体等
 - ・関係団体
<アンケート>
対象者
 - ・地域住民
 - ・道路利用者
 - ・観光客

北海道
地方小委員会

- 【審議内容】
- 地域意見聴取の結果
 - 対応方針(案)の検討

対応方針の決定
(概略ルート・構造等)

北海道地方小委員会

※各段階で隨時自治体と調整

1-4) 前回委員会での主な意見と対応

■第1回計画段階評価（第29回北海道地方小委員会）の概要

実施日

令和3年11月25日（木）

議事内容

- 地域の概況
- 課題の整理

- 地域の状況と課題
- 意見聴取方法

- 道路の状況と課題

■主な意見と対応状況

主な意見	対応	資料
・新規事業化後に事業費不足とならないよう、計画段階評価時から適切にリスク等も勘案し事業費を計上していくことが重要。	・事業費については、他事業の事業費増額理由を参考とし、蘭越～俱知安間の現地状況を踏まえ、事業費の精度向上に努める。	—
・アンケートについて、分かりやすい表現とすることが重要。特に、蘭越～俱知安は外国からの方が多い地域であり、外国人居住者への地域意見聴取方法について検討すべき。	・アンケート調査票の表現について、専門的な用語を平易な文章表現に修正。 ・外国人対応として英語版のwebアンケートを作成。	参考資料3: P36～P38 本資料:P9
・道路の走行性が良い別線となることで、現道の STACK や事故対応等の道路管理上のコストが減少するといったメリットもあり、観点として重要。	・複数ルート案の評価に走行性や安全性に関する評価項目を設定。	本資料:P28

2. 第1回地域意見聴取結果

2-1) 第1回地域意見聴取の概要

○第1回地域意見聴取は、住民・道路利用者へのアンケート調査、および沿線自治体・関係団体へのヒアリング調査を実施。

■地域意見聴取期間

令和3年12月15日(水)～令和4年3月4日(金)

Webアンケート調査：令和3年12月15日～令和4年3月4日

郵送配布調査：令和4年2月7日～令和4年3月4日

留置きアンケート調査：令和4年2月7日～令和4年3月4日

観光客面談アンケート：令和4年3月20日(日)9時～16時(※)

(※)観光面談アンケートは、新型コロナウィルス感染症の発生状況を踏まえ、令和4年3月20日(日)に実施した。

■アンケート配布範囲



■意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法

【自治体及び団体代表者】		ヒアリング インタビュー形式での ヒアリング
沿線自治体等	後志総合振興局、俱知安町、ニセコ町、蘭越町、寿都町、島牧村、黒松内町、真狩村	
各団体	商工会議所(1箇所)、商工会(6箇所) 農業協同組合(1箇所)、漁業協同組合(1箇所) 北海道トラック協会、札幌地区トラック協会 運輸事業者(2社)、バス事業者(2社)、レンタカー事業者(1社)、タクシー事業者(2社) 北海道観光振興機構、観光協会(3箇所) 消防本部(2箇所)、病院(4箇所)	
【地域住民及び道路利用者】		アンケート 常設の留置きアンケート調査
地域住民*	俱知安町(全戸:8,071戸)、ニセコ町(全戸:2,492戸)、蘭越町(全戸:2,108戸)、寿都町(全戸:1,351戸)、島牧村(全戸:637戸)、黒松内町(全戸:1,271戸)、真狩村(全戸:901戸)	
道路利用者	7自治体の役場、道の駅7箇所(くろまつない、よってけ！島牧、みなとま～れ寿都、らんこし・ふるさとの丘、シェルプラザ・港、ニセコビュープラザ、真狩フラワーセンター)、まちの駅ぶらっと(俱知安町)、スキー場(4箇所)	
広域的な利用者		
観光客	観光施設等(観光施設、道の駅等)	Webアンケート調査 インタビュー形式での アンケート調査

*戸数は実際の配布数

2-2) 第1回地域意見聴取の実施状況(アンケート調査)

- 地域住民・道路利用者に対して、後志地域の将来を見据えた地域の課題と蘭越～俱知安間に必要な道路機能について、アンケート調査を実施。
- 英語版によるWebページを開設し、日本語に不慣れな外国人にも配慮。

■意見聴取内容

回答者属性（住所、性別、年齢、職業、自動車運転頻度、蘭越～俱知安間の利用頻度・利用目的）

問1 後志地域の将来を見据えた地域課題について

問2 国道5号蘭越～俱知安間に必要な道路機能について

問3 その他、国道5号蘭越～俱知安間についての意見・要望について（自由意見）

■配布形式調査票

The screenshot shows the first page of a multi-page questionnaire. It includes a map of the Rankoshi-Kuchan section of the highway, a QR code, and several sections of text in Japanese. The text describes the purpose of the survey and provides instructions for participation.

■Web: 日本語版(小樽開発建設部HP)

This screenshot shows the Japanese version of the questionnaire survey. It features a map of the Rankoshi-Kuchan section, a scale for rating statements, and a series of questions with multiple-choice answers. The questions cover topics such as travel time, emergency medical services, and local issues.

■Web: 英語版(小樽開発建設部HP)

This screenshot shows the English version of the questionnaire survey. It includes a map of the Rankoshi-Kuchan section, a scale for rating statements, and a series of questions with multiple-choice answers. The questions are identical to the Japanese version but are presented in English.

■自治体広報誌

This screenshot shows a page from the Niseko life information booklet. It contains various columns of text, tables, and small maps related to local news and information. A QR code is also present.

■留置き状況



俱知安町役場



ニセコアンヌプリ国際スキー場

■観光面談アンケート



道の駅ニセコ・ビュープラザ 9

2-3) 第1回地域意見聴取の実施状況(ヒアリング調査)

○沿線自治体・関係団体に対して、後志地域の将来を見据えた地域の課題と国道5号蘭越～俱知安間に必要な道路機能について、ヒアリング調査を実施。

■意見聴取内容

- 問1 後志地域の将来を見据えた地域課題について
- 問2 国道5号蘭越～俱知安間に必要な道路機能について（理由、課題の実態）
- 問3 その他、国道5号蘭越～俱知安間についての意見や要望について

■実施状況

調査対象		実施箇所	
沿線自治体等		8箇所	
関係団体	産業団体	商工会議所・商工会	7箇所
		農水産業関連	2箇所
		運輸	4箇所
		観光・バス・タクシー	9箇所
	医療消防	消防	2箇所
		病院	4箇所
合計		36箇所	



(沿線自治体)



(運輸事業者)



(観光協会)



(病院)

2-4) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査(回収状況・居住地)

- 全回収数は4,447人で、配布形式は3,513人、留置きは167人、Webは712人、観光客は55人が回答。
- 回答者の居住地は、沿線自治体^(※)が63%、その他の周辺市町村が20%、そのほか道内が13%、道外が1%。

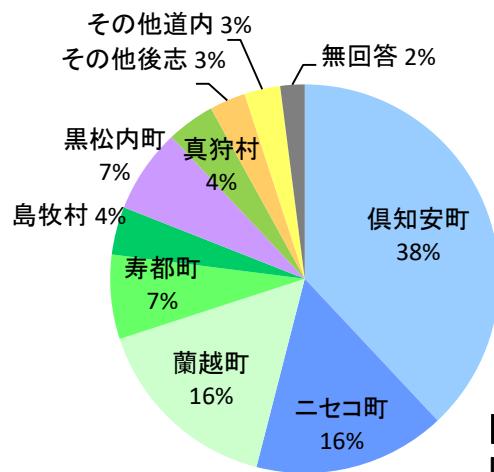
※沿線自治体：俱知安町、ニセコ町、蘭越町

▼調査票回収状況

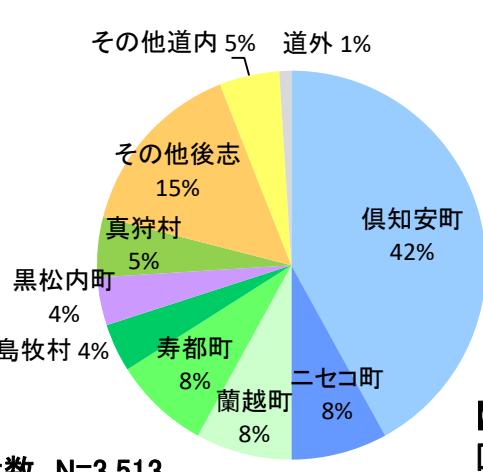
調査形式	配布数	回収数	回収率
配布(7町村※)	16,831票	3,513票	21%
留置き	—	167票	—
Web	—	712票	—
うちweb日本語	—	(667票)	—
うちweb英語	—	(45票)	—
面談(観光客)	—	55票	—
合計	16,831票	4,447票	—

※7町村：俱知安町、ニセコ町、蘭越町、寿都町、島牧村、黒松内町、真狩村

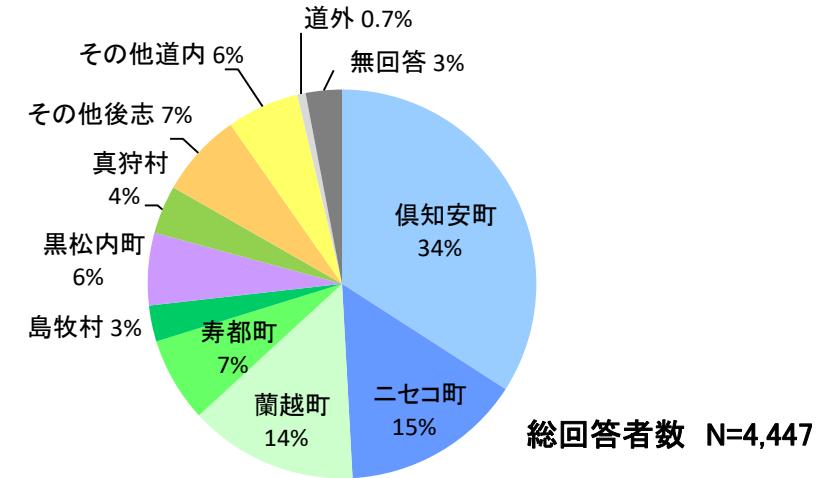
▼居住地(配布)



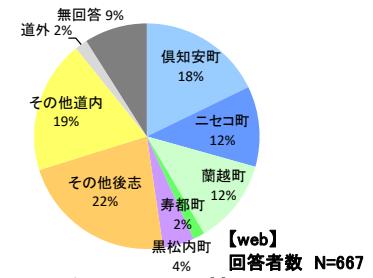
▼居住地(留置き)



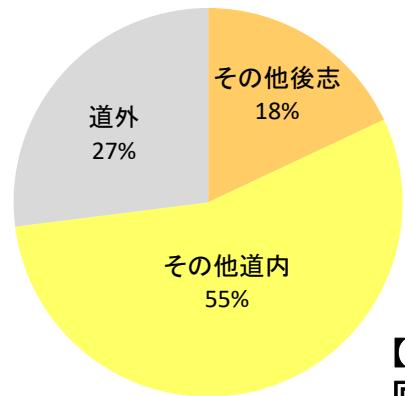
▼回答者居住地



▼居住地(web日本語)

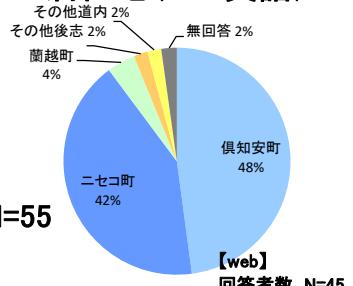


▼居住地(観光面談)



【観光面談】
回答者数 N=55

▼居住地(web英語)

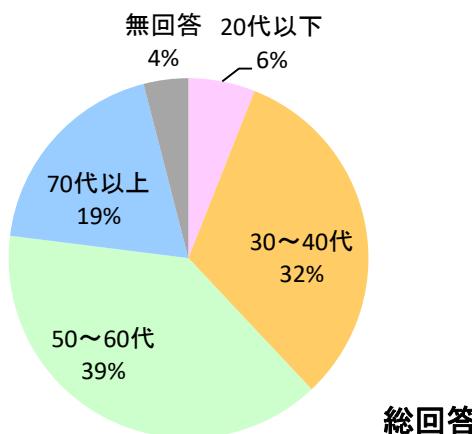


2-5) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査(回答者属性)

○年齢構成は50代以上が約6割、性別は男性が約7割と高くなっています。若年層や女性からの回答割合が低い状況。

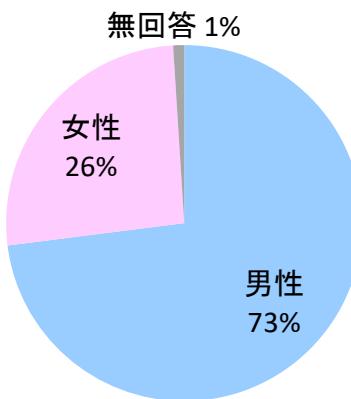
○職業については、会社員が約3割で最も多く、次いで高齢者と想定される無職が16%、公務員が13%。

▼年齢



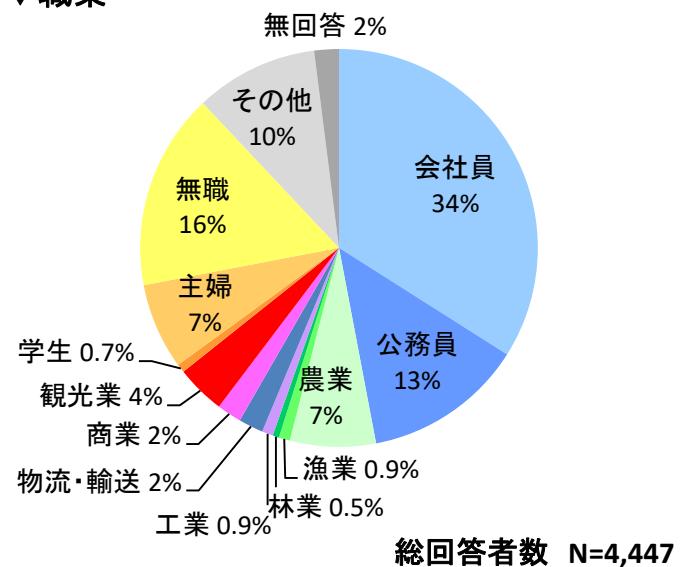
総回答者数 N=4,447

▼性別



総回答者数 N=4,447

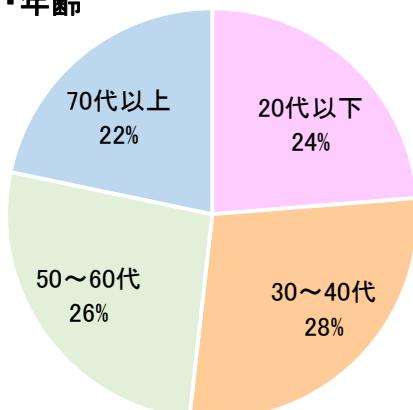
▼職業



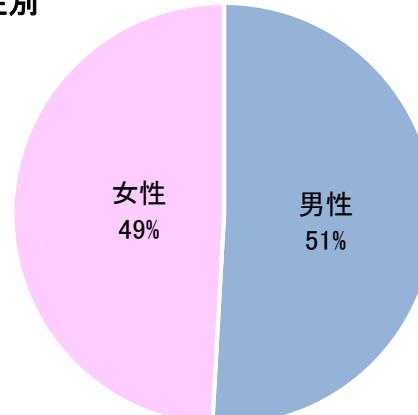
総回答者数 N=4,447

【参考】沿線自治体(俱知安町、ニセコ町、蘭越町)の統計データ

・年齢



・性別

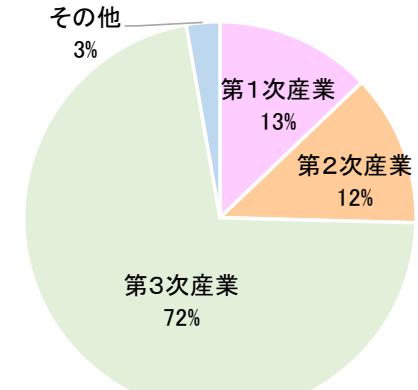


・就業率

自治体名	就業者数	就業率
俱知安町	8,009	62%
ニセコ町	2,623	64%
蘭越町	2,386	58%
計	13,018	62%

※就業率=15歳以上の人口に占める就業者の割合

・産業別就業割合

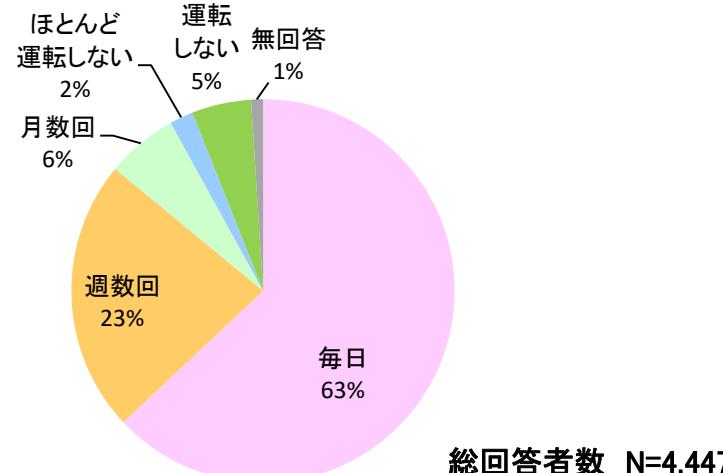


2-6) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査(利用頻度等)

- 自動車運転頻度は、回答者の約6割が毎日運転と回答。
- 蘭越～俱知安間の利用頻度は、「毎日～月数回」の高頻度利用者が約8割を占めている。
- 蘭越～俱知安間の利用目的は、「家事・買物」「観光・レジャー」「仕事」、「通院」の順で多くなっている。

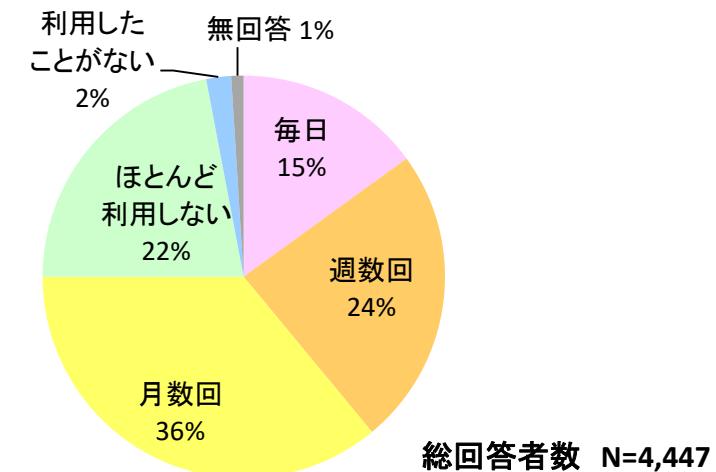
▼自動車を運転する頻度

質問. 自動車を運転する頻度を教えてください(単数回答)



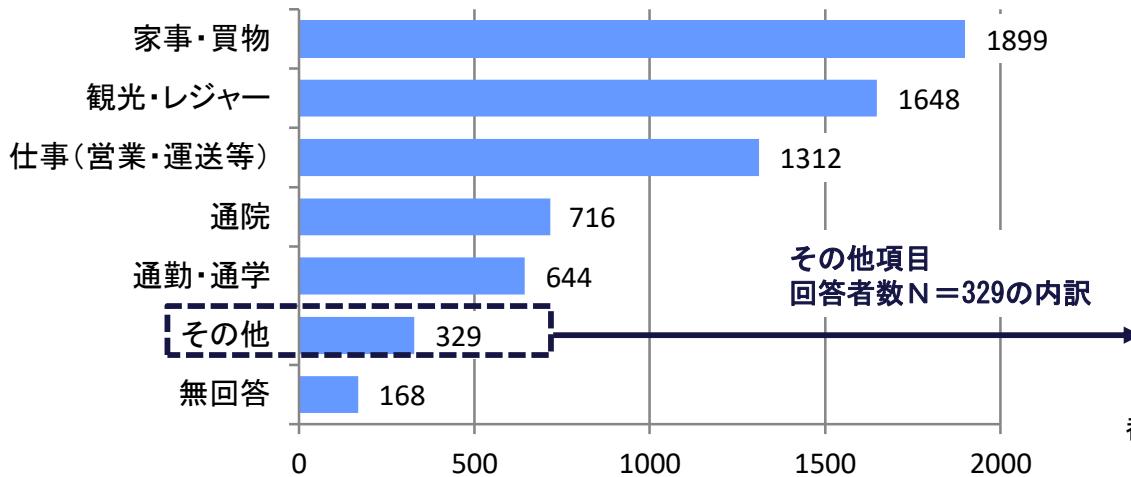
▼蘭越～俱知安間の利用頻度

質問. 蘭越～俱知安間の利用頻度を教えてください(単数回答)

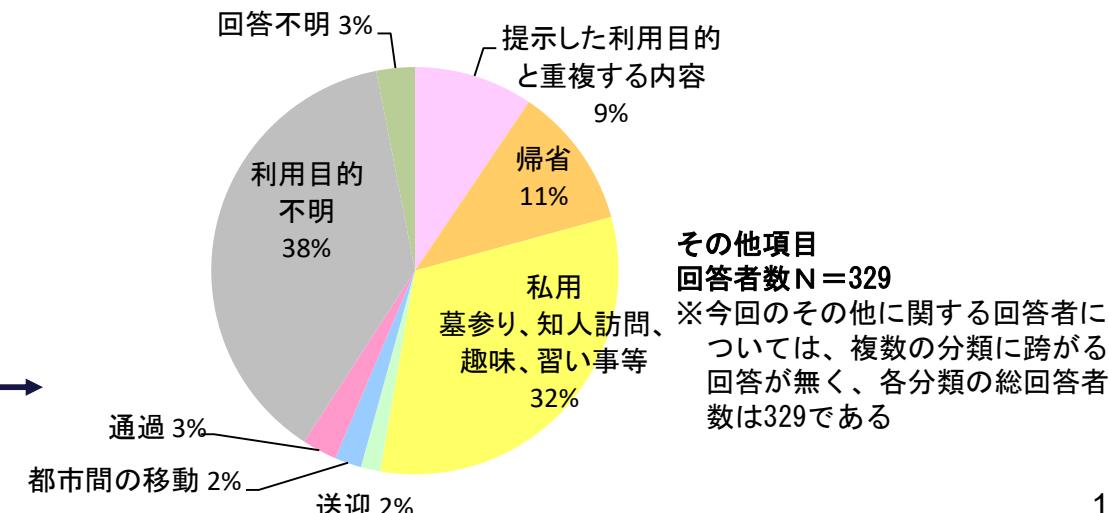


▼蘭越～俱知安間の利用目的

質問. 蘭越～俱知安間の主な利用目的を教えてください(複数回答)



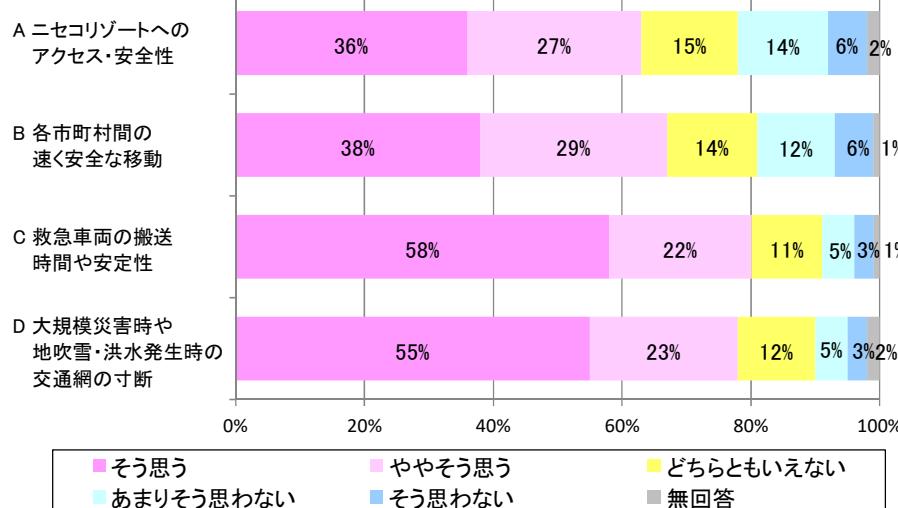
▼蘭越～俱知安間の利用目的(その他項目の回答内容)



2-7) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査(将来を見据えた地域の課題)

- 後志地域の将来を見据えた地域の課題については、各課題に対し、約6割～8割が課題と感じている。
- 特に「救急車両の搬送時間や安定性」、「大規模災害時や地吹雪・洪水発生時の交通網の寸断」を課題として感じている意見が多い。

▼将来を見据えた地域の課題について



質問1-1.

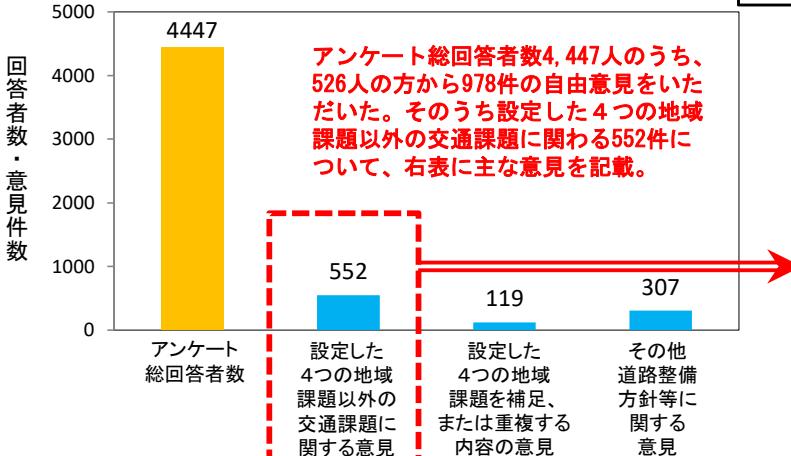
後志地域の将来を見据えた地域の課題についてどう思いますか？
次のA～Dについて、「そう思う」～「そう思わない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。

- A ニセコリゾートへのアクセスに時間がかかり、市街地で一般交通と観光交通が混在し安全に走行できない
- B ニセコ観光圏を結ぶ各市町村間の移動に時間がかかり、カーブやアップダウンにより安全に走行できない
- C 救急搬送に時間がかかり、カーブや信号等による揺れや振動で患者に負担がかかる
- D 有珠山噴火等の大規模災害時や、地吹雪・洪水等発生時に国道が通行止めとなり、走れなくなる

▼その他の課題

総回答者数N=4,447人

質問1-2. 上記A～D以外で、あなたが課題だと思うことがあれば、ご自由にお書きください。(自由記述)



分類	主な意見
安全性・走行性【236件】	<ul style="list-style-type: none"> 冬期の安全・安心な道路の確保は重要な課題。 俱知安町の国道5号は、現在のコロナの状況であっても混雑しそうしている。 JRのバス転換により、大型車両の交通量が増えることが予想される。 交通渋滞や交通事故を減らす対応策を考えもらいたい。
防災【54件】	<ul style="list-style-type: none"> 冬期の暴風雪や大規模災害の備えとして、代替路の確保は重要な課題。
産業支援【62件】	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送は速やかに短時間でできるようにしてほしい。
道路構造【74件】	<ul style="list-style-type: none"> 俱知安町～蘭越町間の国道5号は、カーブや急勾配が多い。
維持管理【52件】	<ul style="list-style-type: none"> 冬期は路面が凸凹で走りにくく、道幅が狭い。
その他(JR廃線等)【74件】	<ul style="list-style-type: none"> JR廃線後の公共交通の確保が課題。

自由意見回答者数 526人、総意見数 978件

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複している。

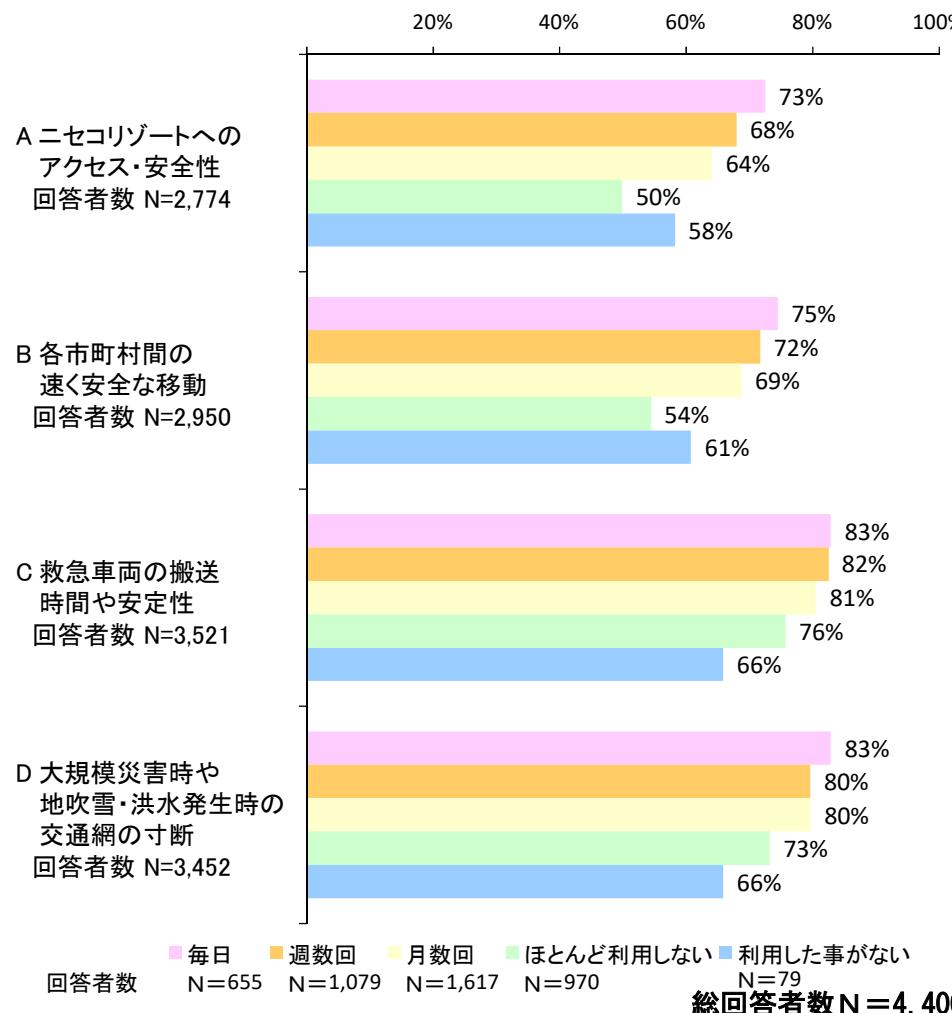
2-8) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査(利用頻度別地域課題)

- 蘭越～俱知安間の地域課題を利用頻度別にみると、利用頻度が高い回答者の賛同意見割合が高い。
- 蘭越～俱知安間の地域課題を沿線地域についてみると、高頻度利用者(毎日・週数回・月数回)の賛同意見割合が高く、項目別では特に「救急車両の搬送時間や安定性」、「大規模災害時や地吹雪・洪水発生時の交通網の寸断」についての賛同割合が多い。

▼蘭越～俱知安間利用頻度別の賛同意見割合

(「そう思う」または「ややそう思う」と回答した回答者の割合)

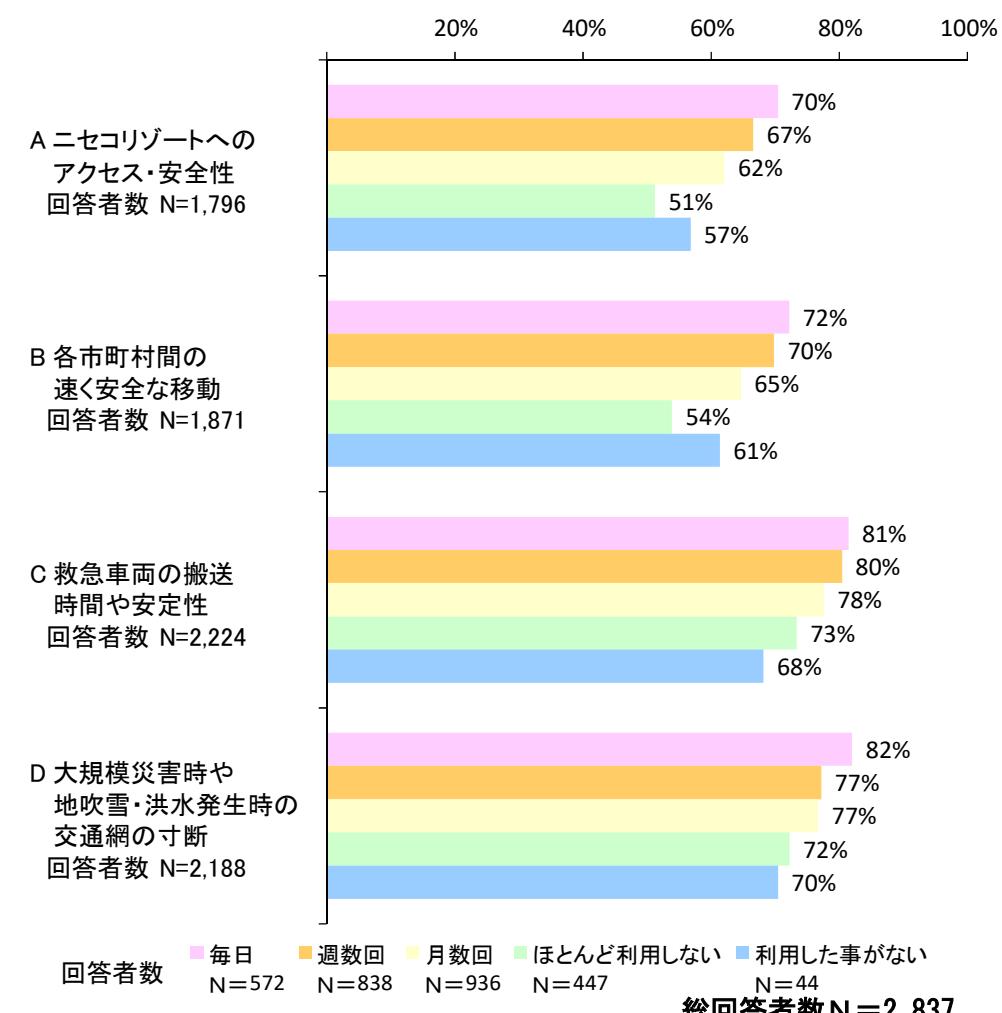
地域の課題×国道5号利用頻度別の賛同意見割合



▼沿線地域(※)における蘭越～俱知安間利用頻度別の賛同意見割合

(「そう思う」または「ややそう思う」と回答した回答者の割合)※沿線地域：俱知安町、ニセコ町、蘭越町

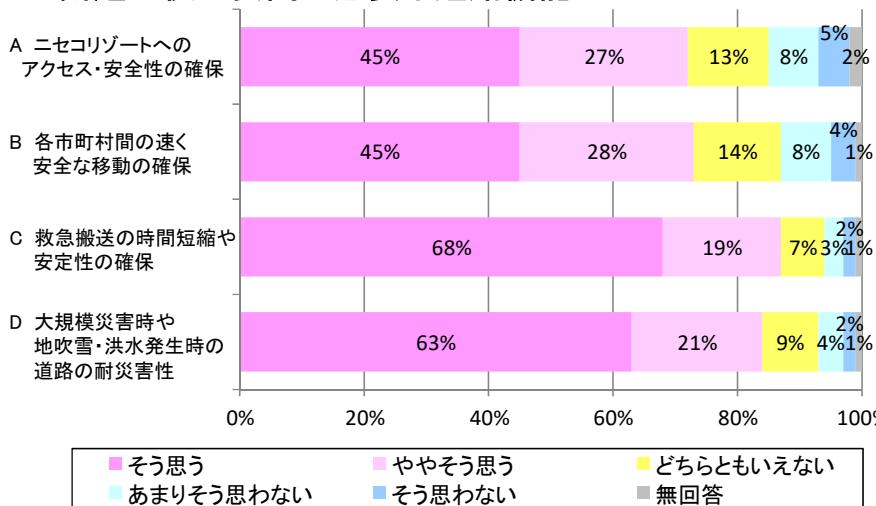
地域の課題×国道5号利用頻度別の賛同意見割合(沿線地域等)



2-9) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査（蘭越～俱知安間に必要な道路機能）

- 国道5号蘭越～俱知安間に必要な道路機能については、各機能に対し約7割～9割が必要性を感じる傾向。
- 特に「救急搬送の時間短縮や安定性の確保」、「大規模災害時や地吹雪・洪水発生時の道路の耐災害性」を必要と感じる意見が多い。

▼蘭越～俱知安間に必要な道路機能について



質問2-1.

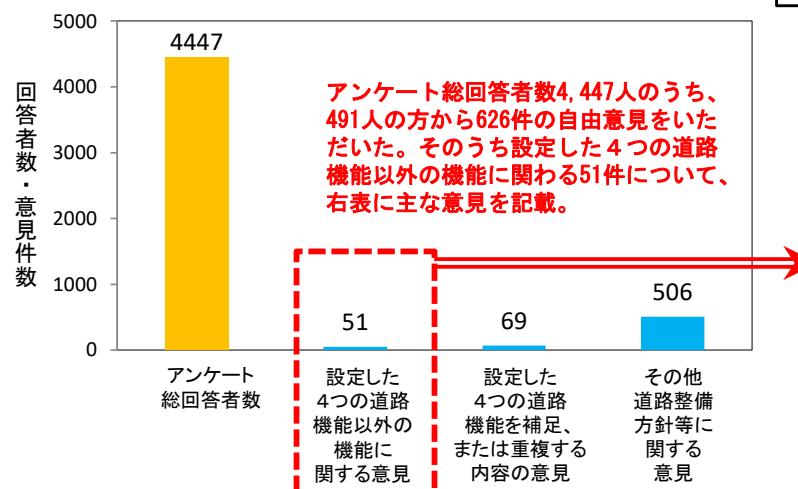
国道5号蘭越～俱知安間に必要な機能についてどう思いますか？

次のA～Dについて、「そう思う」～「そう思わない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。

- A ニセコリゾートへの移動時間を短縮し、安全に走れる道路
- B ニセコ観光圏内を結ぶ各市町村間の移動時間を短縮し、安全に走れる道路
- C 救急搬送時間を短縮し、患者への負担が少ない道路
- D 有珠山噴火等の大規模災害時や、地吹雪・洪水等発生時に通行できる道路

総回答者数N=4,447人

▼その他の道路に求められる機能



質問2-2. 上記A～D以外で、あなたが必要だと思うことがあればご自由にお書き下さい。(自由記述)

分類	主な意見
安全性・走行性【25件】	・国道5号は、生活道路であり、カーブや坂が多く、冬期の地吹雪や凍結発生における車での走行は困難を極める。なるべく安全に利用できる道路にしてほしい。
防災【17件】	・災害等の発生による国道5号通行止めの際の代替路が必要。
産業【2件】	・道央自動車道へのアクセス性が向上すれば、新千歳空港、小樽・苫小牧港や、観光拠点である札幌やニセコと環状線になるので、整備の優先度は高いと思います。
その他【7件】	・JRの存続問題もあり、道路インフラは絶対必要。

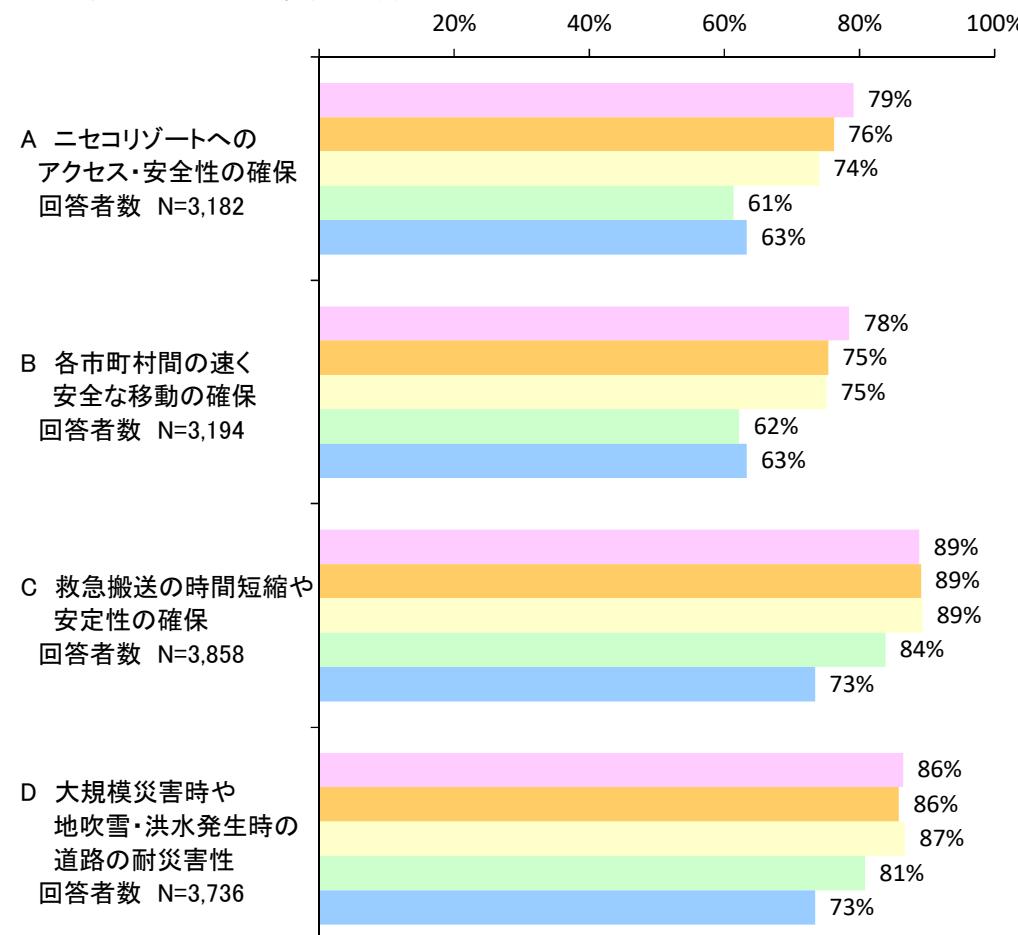
2-10) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査(利用頻度別道路機能)

- 蘭越～俱知安間の道路機能を利用頻度別にみると、利用頻度の高い回答者の賛同意見割合が高い状況。
- 蘭越～俱知安間の道路機能を沿線地域についてみると、高頻度利用者(毎日・週数回・月数回)の賛同意見割合が高く、項目別では特に「救急搬送の時間短縮や安定性の確保」、「大規模災害時や地吹雪・洪水発生時の道路の耐災害性」についての賛同割合は高い傾向。

▼蘭越～俱知安間利用頻度別の賛同意見割合

(「そう思う」または「ややそう思う」と回答した回答者の割合)

道路機能×国道5号利用頻度別の賛同割合



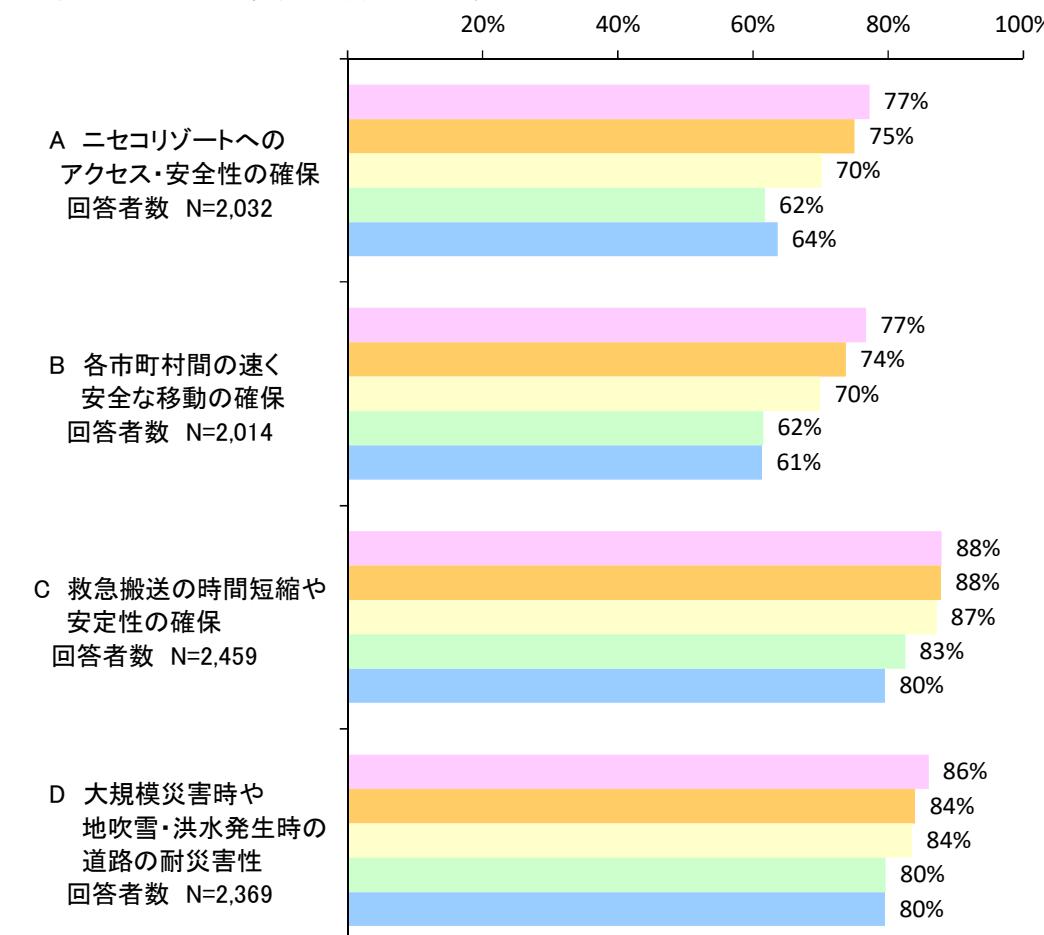
回答者数
N=655 N=1,079 N=1,617 N=970 N=79

総回答者数N=4,400

▼沿線地域(※)における蘭越～俱知安間利用頻度別の賛同意見割合

(「そう思う」または「ややそう思う」と回答した回答者の割合)※沿線地域：俱知安町、ニセコ町、蘭越町

道路機能×国道5号利用頻度別の賛同割合(沿線地域等)



回答者数
N=572 N=838 N=936 N=447 N=44

総回答者数N=2,837

2-11) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査(自由回答)

○その他の意見・要望としては、早期着工・開通への要望、整備方針に関する意見が寄せられた

▼その他の意見・要望

質問3. その他、蘭越～俱知安間について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。(自由記述)

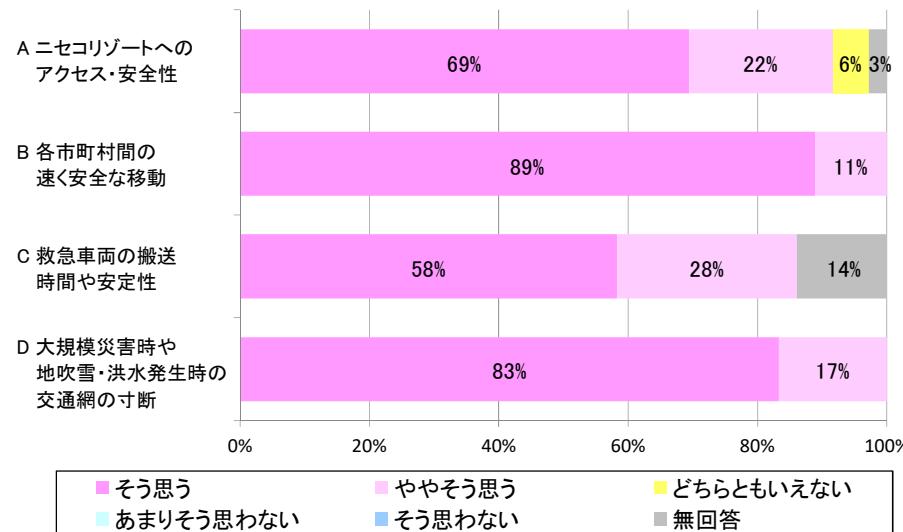
主な意見

- ・将来は黒松内までつなげていただくことが、後志管内の地域発展のみならず、北海道全体の経済効果にもつながるものと思います。
- ・都市部への安全かつ速やかな移動時間の短縮で、医療体制の確立や野菜など新鮮な物の供給ができると思われ、早期着工による完成を期待します。
- ・俱知安町市街地エリア以外は、アップダウンやカーブが多く、交通事故を見かけたこともある。高速道路が整備されれば安全に短時間で走行できるようになり、各市町村間のアクセスだけでなく、道南・函館方面にも行動範囲を広げやすくなる。
- ・コロナ禍以前はインバウンド観光客がレンタカーを利用してニセコに来る割合が年々増え、スキーフィールドに向かう車両も多かった。コロナ収束後にインバウンド観光客が戻ってくることを考えると、ニセコスキーフィールドへのアクセスに便利な高速道路とスキーフィールドに近い出入口が必要と思う。
- ・俱知安とニセコの中間にインターチェンジを作ってほしい。国道5号に近い場所が良いと思う。
- ・鉄道の廃止が決まり、安全・確実に走行できる自動車専用道路は早期に必要になると思います。
- ・JR函館線、長万部-小樽間の廃止が決まった以上、蘭越-俱知安間の高規格道路の重要性がさらに増すと思われ、一日も早い実現を切に望みます。
- ・冬期の除雪・排雪を積雪状態に応じて実施していただきたい。
- ・将来の維持費、経済効果を十分検討の上、本当に必要かどうか考えてほしい。

2-12) 第1回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査(将来を見据えた地域の課題)

○後志地域の将来を見据えた地域の課題については、全項目で8割以上が課題と感じており、特に「各市町村間の速く安全な移動」、「大規模災害時や地吹雪・洪水発生時の交通網の寸断」については、10割が「そう思う」「ややそう思う」と回答。

▼将来を見据えた地域の課題について



総回答数 N=36

質問1-1.

後志地域の将来を見据えた地域の課題についてどう思いますか？
次のA～Dについて、「そう思う」～「そう思わない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。

- A ニセコリゾートへのアクセスに時間がかかり、市街地で一般交通と観光交通が混在し安全に走行できない
- B ニセコ観光圏を結ぶ各市町村間の移動に時間がかかり、カーブやアップダウンにより安全に走行できない
- C 救急搬送に時間がかかり、カーブや信号等による揺れや振動で患者に負担がかかる
- D 有珠山噴火等の大規模災害時や、地吹雪・洪水等発生時に国道が通行止めとなり、走れなくなる

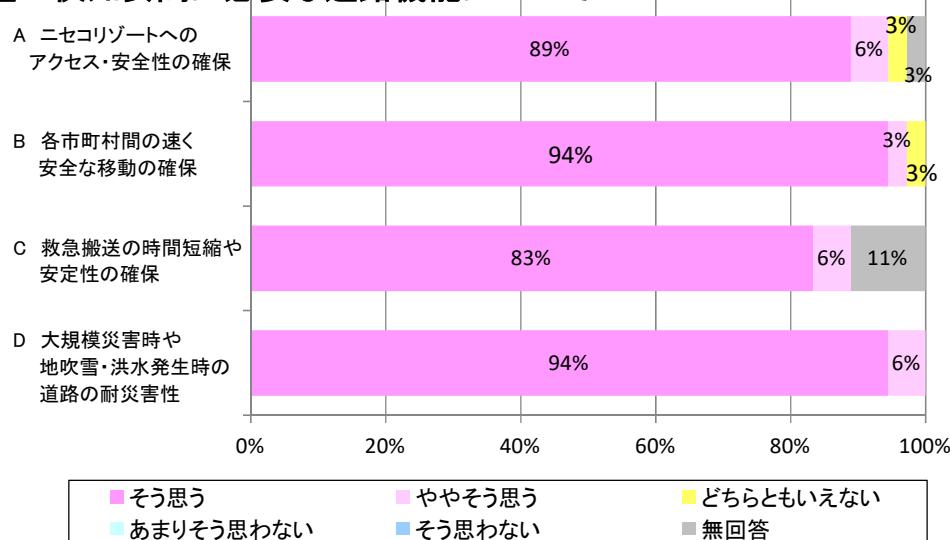
▼選択した項目が重要だと思う理由

項目	主な意見
A ニセコリゾートへのアクセス・安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・俱知安は豪雪地帯で、除雪はしっかりと行われているとはいえ、冬期は市街地が4車線が2車線になってしまい渋滞が発生している。【後志振興局】 ・以前は冬期だけが混雑していたが、現在では夏・秋の景観の良い観光シーズン多くの車両が通行するので、安全に走行できるルートの整備が必要である。【バス会社】
B 各市町村間の速く安全な移動	<ul style="list-style-type: none"> ・スキーリゾート地であるニセコ・俱知安において、冬のカーブや坂道(特に下り坂)は、冬道に不慣れな外国観光客にとって危険である。外国人も冬道でスタックすることがよくある。【レンタカー会社】 ・観光交通の増加により混雑や渋滞が発生すると、カーブや坂道で一般車両を追い越す場合の危険性が増す。【消防本部】
C 救急車両の搬送時間や安定性	<ul style="list-style-type: none"> ・長い上り坂や車道幅が狭く見通しの悪いカーブがあり速度を落とさざるを得ず、基幹病院である俱知安厚生病院までの救急搬送に時間がかかる。また、そういった箇所では、一般車両が緊急車両に道を素早く譲ることもできない。【病院】 ・最寄りの医療機関まで長距離・長時間の搬送を余儀なくされている。【商工会】
D 大規模災害時や地吹雪・洪水発生時の交通網の寸断	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期の地吹雪により視界不良になることが多く危険であると感じる。また、夏場では大雨による洪水により国道5号が通れなくなると、大幅な迂回が生じるため、早期の道路整備を望む。【バス会社】 ・大雪時など事故やスタックした車が原因で一時的に通行止めとなることがある。【タクシー会社】

2-13) 第1回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査（蘭越～俱知安間に必要な道路機能）

- 国道5号蘭越～俱知安間に必要な道路機能については、各機能に対し約9割が必要を感じる傾向。
- 特に「各市町村間の速く安全な移動の確保」、「大規模災害時や地吹雪・洪水発生時の道路の耐災害性」を必要と感じる意見が多い。

▼蘭越～俱知安間に必要な道路機能について



質問2-1.

- 国道5号蘭越～俱知安間に必要な機能についてどう思いますか？
次のA～Dについて、「そう思う」～「そう思わない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。
- A ニセコリゾートへの移動時間を短縮し、安全に走れる道路
 - B ニセコ観光圏内を結ぶ各市町村間の移動時間を短縮し、安全に走れる道路
 - C 救急搬送時間を短縮し、患者への負担が少ない道路
 - D 有珠山噴火等の大規模災害時や、地吹雪・洪水等発生時に通行できる道路

▼選択した項目が重要だと思う理由

総回答数 N=36

項目	主な意見
A ニセコリゾートへのアクセス・安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・新千歳空港～ニセコ間の時間短縮と安全性が高い道路が必要。【タクシー会社】 ・小樽・札幌圏からニセコリゾートへ車で向かう途中での外国人観光客による交通事故が多発している。早期の道路整備を希望する。【消防本部】
B 各市町村間の速く安全な移動の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・俱知安町への通勤・通学者が多く、移動時間の短縮や安全性の向上は重要。【自治体】 ・黒松内町方面でもインバウンド観光に力を入れており、国際リゾートのニセコとのアクセス性向上は非常に有益である。【商工会】
C 救急搬送の時間短縮や安定性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・俱知安町が最も多い搬送先であり、搬送時間が短縮され、かつ揺れが少なく患者の負担が少ない道路が地域に必要である。【商工会】 ・高速道路を利用した場合は、一般道路に比べ発進・停止の回数を減らすことができ、安定した搬送が可能となる。さらには搬送時間短縮も期待できる。【消防本部】
D 大規模災害時や地吹雪・洪水発生時の道路の耐災害性	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害、地吹雪や洪水などの災害時において代替道路は必須である。【商工会】 ・近年は、気候変動の災害を含め、連続的に地域の災害が発生している。複合災害への対応としては、避難通路の確保が必要である。【バス会社】

2-14) 第1回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査(その他意見)

- その他の意見としては、物流と観光・安全に関する意見が多く見られた。
- 特にドライバー環境や観光形態の変化への対応に関する意見が多く見られた。

▼その他の意見・要望

質問3. 国道5号蘭越～俱知安間について意見がございましたらお聞かせください。(自由記述)

主な意見

- ・北海道では、冬期は特に走行速度が落ちて移動に時間がかかり、カーブでのスリップ事故が発生しやすい。ニセコは外国人客が多く訪れる地域であり、外国人もレンタカーを利用するため、その方々も安心して走行できる道路が必要である。
【観光協会】
- ・冬期は特に、新千歳空港からニセコ観光エリアへの移動を依頼されるお客様が非常に多い。高速道路が整備されれば、新千歳空港間との往来はお客様にとって安全で快適な移動経路となり、また札幌や小樽にも寄ることができるなど観光の利便性が向上する。【タクシー会社】
- ・蘭越・ニセコ・俱知安地域から小樽・札幌への救急搬送は、高速道路が整備されれば一定速度で走行できるほか、市街地を通らないため事故の危険性が低くなる。揺れも少なくなるので患者さんへの負担を軽減できる。また、搬送時間の短縮が期待でき、救命率の向上に大きく寄与する。【消防本部】
- ・運送事業者を取り巻く経営環境は非常に厳しい状況にあり、特にドライバーの就業・運転時間など労務管理に関する規制は、健全な経営面とのバランスを維持するという点で大変困難な状況である。高速道路を利用することにより輸送時間が短縮されればドライバーの運転時間が減り、様々な時間規制をクリアしやすくなると思われる。【トラック協会】
- ・交通事故は運送会社にとって最も大きなダメージとなる。高速道路は一般道路に比べ事故が少なく、また到着時間が読めるため、冬期は特に輸送の安心感が大きくなる。【運輸業者】
- ・函館方面への出荷に国道5号を利用しており、高速道路が整備されれば函館方面への利便性が格段に向上する。【農業協同組合】

2-15) 第1回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査(将来像・地域連携の取組)

地域の将来像、取組について様々な意見が寄せられ、観光振興や広域連携に関する項目が多く確認された。

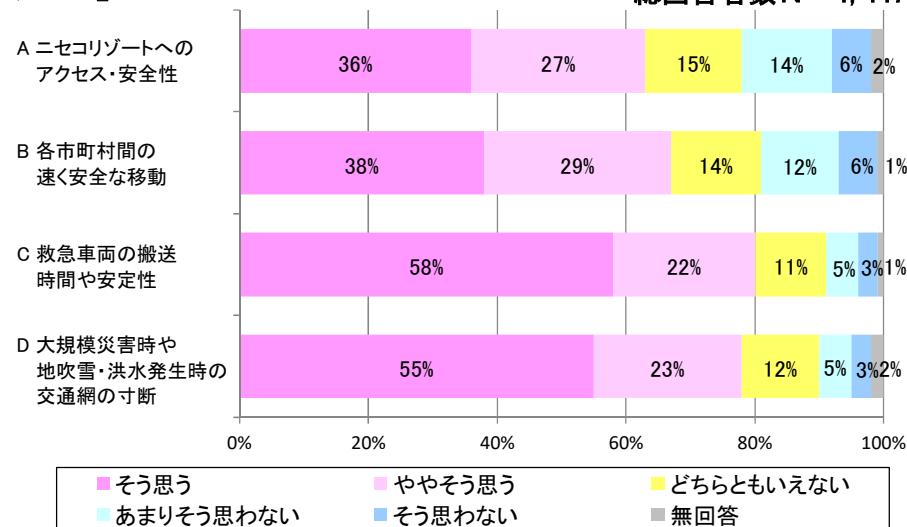
関係団体	実施数
自治体	<ul style="list-style-type: none"> ■観光振興・広域連携 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線の延伸に伴い、道外から新幹線で来られる観光客が増えると想定されるが、俱知安駅からニセコリゾートへの移動手段が課題であるため、高速道路の整備は大きな役割を果たす。 ・移住・定住に関する施策を本格的に進めていく予定であり、高速道路で他地域とのアクセス性が向上されれば、移住・定住の促進につながる。 ・JR在来線廃止によるバス転換が今後進めていくと想定され、高速道路の整備はより重要性を増すと考えている。特に、ニセコ町や蘭越町から俱知安高校へ通っている学生も多く、通学に大きな役割を果たすこと期待。 ■防災 <ul style="list-style-type: none"> ・災害に備え、国道5号に限らず複数の交通ネットワークを用意しておくことが重要である。特に高規格道路はその基幹となる。
産業団体	<ul style="list-style-type: none"> ■観光振興・広域連携 <ul style="list-style-type: none"> ・定住しなくとも週末だけ田舎まで通い、また日曜日に札幌に帰るというライフスタイルも考えられる。それが地域に様々な効果を与えると思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ■輸送効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・俱知安からさらに蘭越まで延伸されれば、輸送時間を短縮するため国道現道から高速道路ルートを変える可能性は極めて大きい。 ・輸送時間の短縮や確実性が向上すれば、積み荷の時間がより確保できるため、集荷先を増やすなど輸送の効率化が図られる。
	<ul style="list-style-type: none"> ■通勤圏拡大・観光事業拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・観光産業に従事する人が、蘭越や真狩に住んでもらうことにも増えてくる。通勤に高速道路が利用される。 ・俱知安町や蘭越町の観光協会と連携・協力を密にしていく必要がある。今後は、プロモーションなど協力して夏の観光に力を入れていきたい。そのためにも高速道路の支援が必要である。
医療・消防	<ul style="list-style-type: none"> ■医療・救急搬送 <ul style="list-style-type: none"> ・冬期はドクターへリが飛べないことも多く、よほど天気が良くないと中山峠や稲穂峠を越えて来れない。ドクターへリが飛べない場合は救急車による陸送となり、時間がかかる。高速道路が延伸されて各市街地にインターチェンジが整備されれば、救急搬送の迅速性が非常に向上する。
	<ul style="list-style-type: none"> ■医療・広域連携 <ul style="list-style-type: none"> ・診療所に赤十字血液センターから血液を搬入する場合に、効率的な配送ができるなど血液センターの利便性が高まる。

2-16) 第1回地域意見聴取(アンケート・ヒアリング)結果のまとめ

○第1回意見聴取の結果、将来を見据えた地域の課題、蘭越～俱知安間に必要な道路機能について確認。

▼住民・道路利用者が感じる地域課題

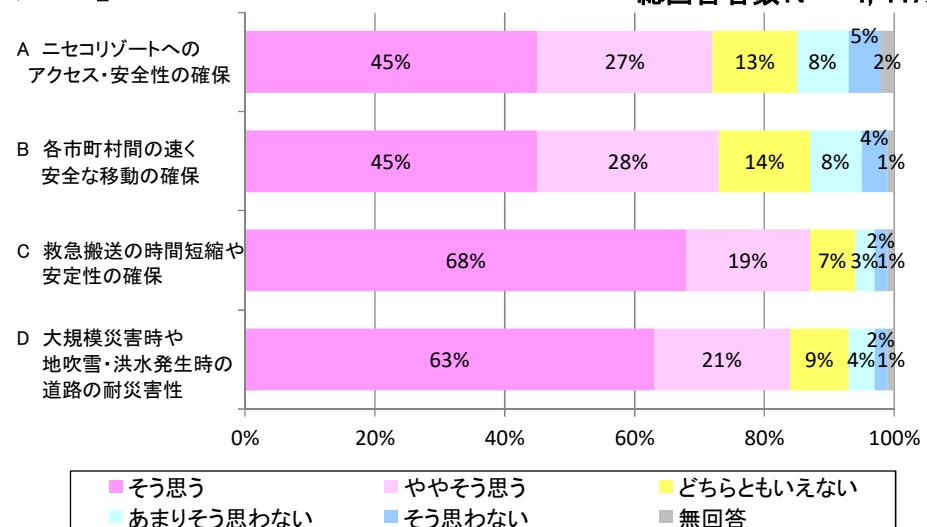
【アンケート】



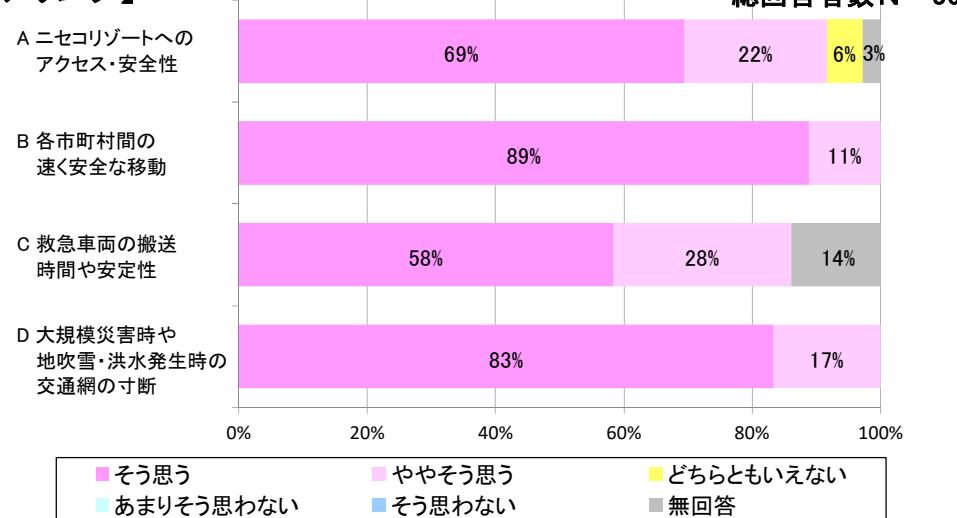
▼蘭越～俱知安間に必要な道路機能について

【アンケート】

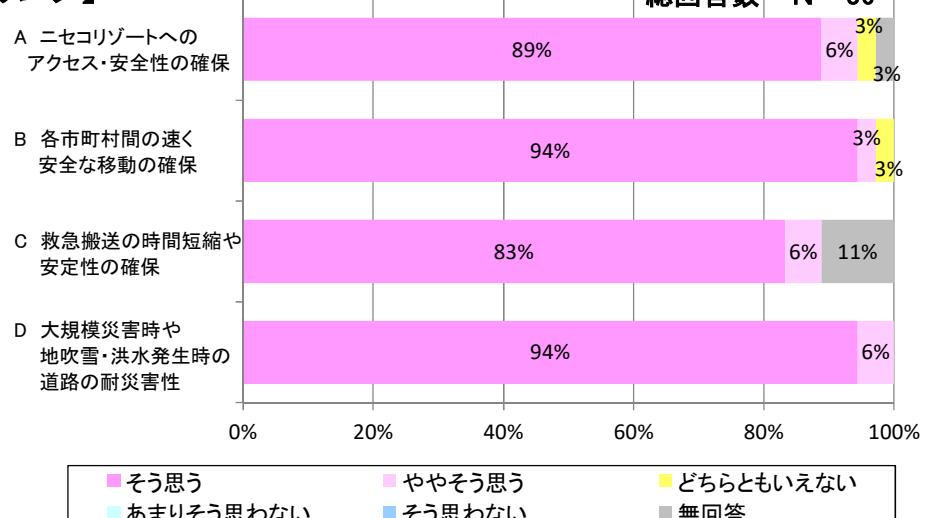
総回答者数 N = 4,447人



【ヒアリング】



【ヒアリング】



アンケート、ヒアリング結果から道路整備の必要性を確認

3. 地域意見を踏まえた政策目標

3-1) 政策目標の設定

- 第1回地域意見聴取の結果を踏まえ、本地域の政策目標を設定。
- 別線整備や既存の道路ストックの活用も含め対策案を設定し整備方針を検討。

■政策目標の設定

地域や道路の状況・課題

圏域と地域の将来像

地域意見聴取の結果



- ・ニセコリゾートへの速達性、安全性の向上
- ・各市町村間の速達性、安全性の確保
- ・地域の暮らしを支える救急搬送の速達性、安定性の向上
- ・大規模災害時や地吹雪・洪水発生時における国道機能確保

■対策案の検討

【観光関連】

- ・観光拠点への速達性の高い道路
- ・市街地を回避し、安全に移動できる道路

【観光関連】

- ・各市町村間移動の速達性が高い道路
- ・線形不良区間を回避し、安全に移動できる道路

【医療関連】

- ・医療拠点である俱知安町への速達性の高い道路
- ・搬送時の安定性が高い道路

【災害関連】

- ・大規模災害時や地吹雪・洪水発生時においても機能する道路

別線整備や既存の道路ストック活用も含め対策案を設定し整備方針を検討

4. 路線の整備方針（案）

4-1) 路線の対策案の考え方

○第1回地域意見聴取で地域の課題、蘭越～俱知安間に必要な道路機能について確認したことから、政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を踏まえ、以下のような2つの対策案を設定。

政策目標

ニセコリゾートへの速達性、安全性の向上

各市町村間の速達性、安全性の確保

地域の暮らしを支える救急搬送の速達性、安定性の向上

大規模災害時や地吹雪・洪水発生時ににおける国道機能確保

政策目標達成に必要な機能

- ・観光拠点への速達性の高い道路
- ・市街地を回避し、安全に移動できる道路

- ・各市町村間移動の速達性が高い道路
- ・線形不良区間を回避し、安全に移動できる道路

- ・医療拠点である俱知安町への速達性の高い道路
- ・搬送時の安定性が高い道路

- ・大規模災害時や地吹雪・洪水発生時においても機能する道路

配慮すべきポイント

・地域への影響

・環境への影響

・工事中の影響

・経済性

2つの対策案と整備イメージ

別線整備ルート

別線整備により、課題箇所を回避し市街地へのアクセスに配慮したルート



現道改良・一部別線ルート

蘭越～俱知安間において現道改良により課題を解消するルート



凡例

- 市街地・集落
- 現道
- 別線整備
- 現道改良

4-2) 評価項目

地域の課題	政策目標	求められる機能	評価項目
観光支援 (人流)	ニセコリゾートへの速達性、安全性の向上	・観光拠点への速達性の高い道路	・俱知安ICからニセコリゾートまでの所要時間短縮
		・市街地を回避し、安全に移動できる道路	・交通事故を招く市街地・交差点部の回避
	各市町村間の速達性、安全性の確保	・各市町村間移動の速達性が高い道路	・蘭越町、ニセコ町、俱知安町の移動時間短縮
		・線形不良区間を回避し、安全に移動できる道路	・交通事故を招く線形不良個所の回避
暮らし (医療)	地域の暮らしを支える救急搬送の速達性、安定性の向上	・医療拠点である俱知安町への速達性の高い道路	・蘭越町から俱知安厚生病院までの時間短縮
		・搬送時の安定性が高い道路	・搬送時における市街地やカーブ区間の回避
災害 (防災・減災)	大規模災害時や地吹雪・洪水発生時における国道機能確保	・大規模災害や地吹雪・洪水発生時においても機能する道路	・地吹雪発生区間やスタック発生個所の回避
			・洪水浸水想定区間を回避し、避難活動を支援する道路

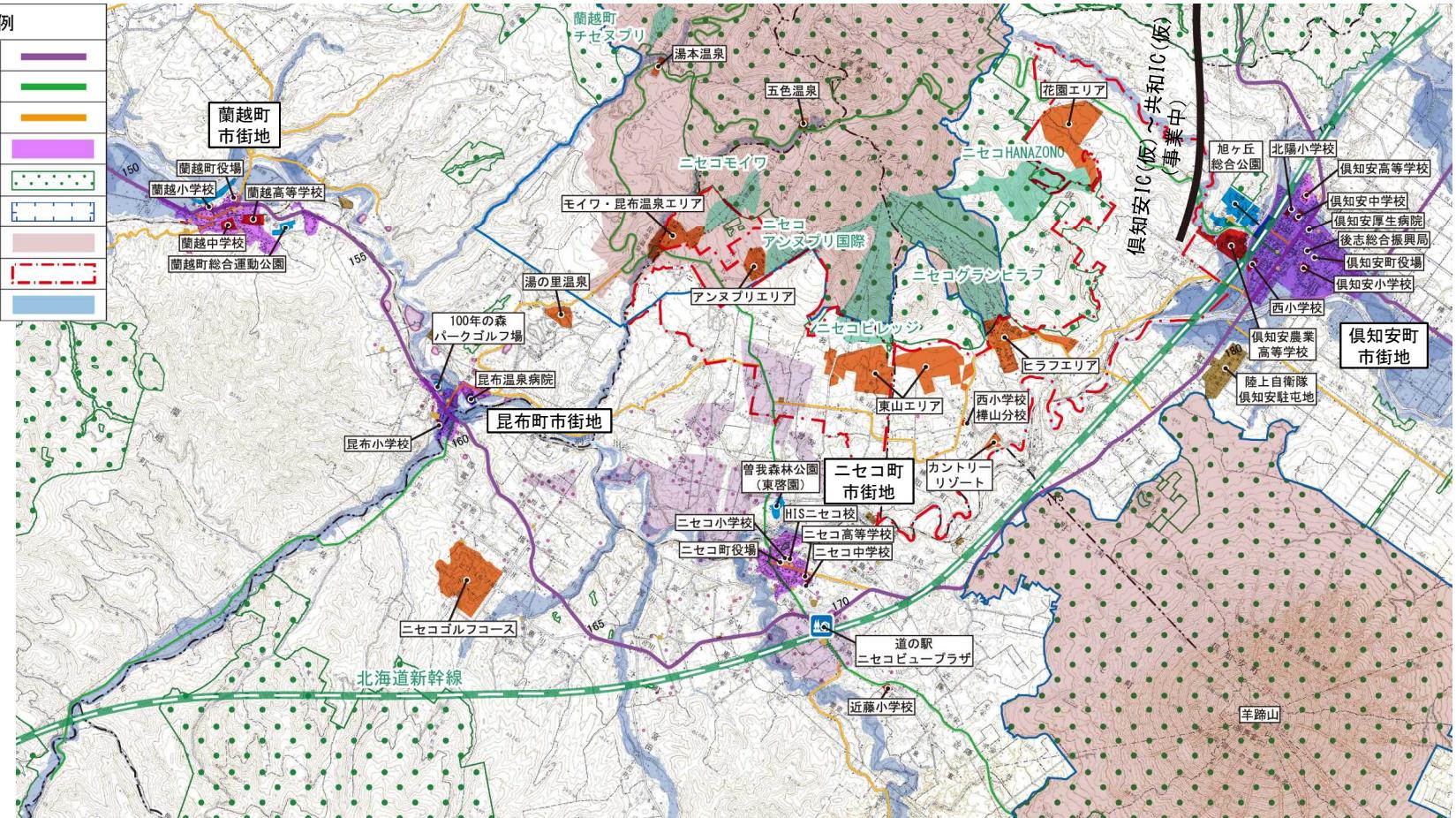
配慮すべきポイント	評価項目
地域への影響	家屋や施設等への影響に配慮
環境への影響	自然環境への影響に配慮
工事中の影響	工事中の現道交通への影響
経済性	建設に要する費用

4-3) 対策案のコントロールポイントの考え方

○各対策案検討のコントロールポイントとしては、市街地の公共施設や観光拠点、洪水浸水想定区域の影響を極力回避しつつ、市街地へのアクセス性に配慮。

凡 例	
新幹線ルート	緑色
道の駅	青い建物
スキー場	緑色
観光施設	オレンジ色
寺院・神社	黄褐色
学校	赤色
病院	青色
公園	水色
施設等	黄褐色
遺跡	紫褐色

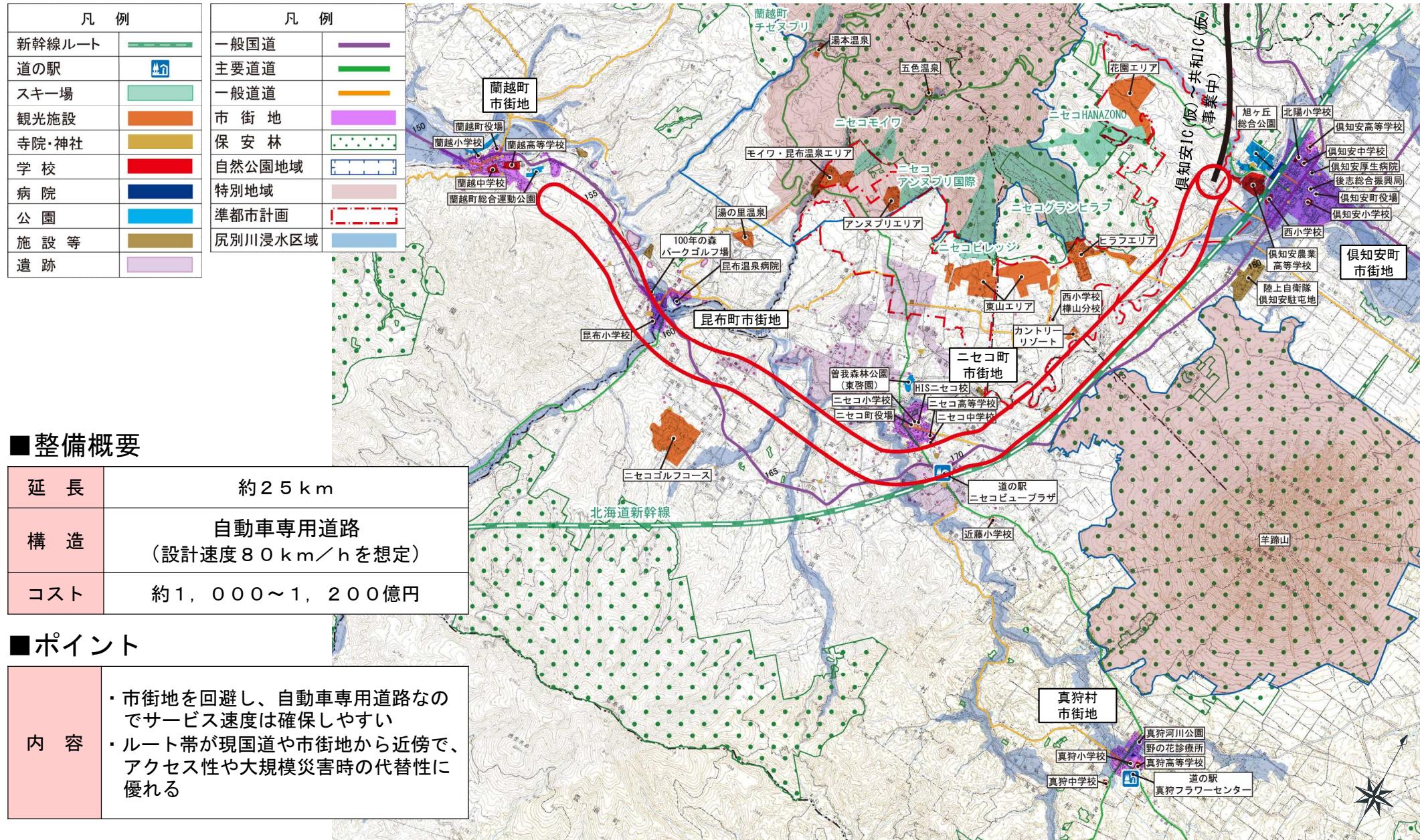
凡 例	
一般国道	紫色
主要道道	緑色
一般道道	オレンジ色
市 街 地	紫色
保 安 林	点線
自然公園地域	水色
特別地域	茶色
準都市計画	赤点線



回避すべき施設等 (社会的状況による要因)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地 公共施設（役場、学校、病院等） 観光施設（スキー場、ゴルフ場、温泉等）
配慮すべき事項 (自然環境)	<ul style="list-style-type: none"> 自然公園地域 洪水浸水想定区域

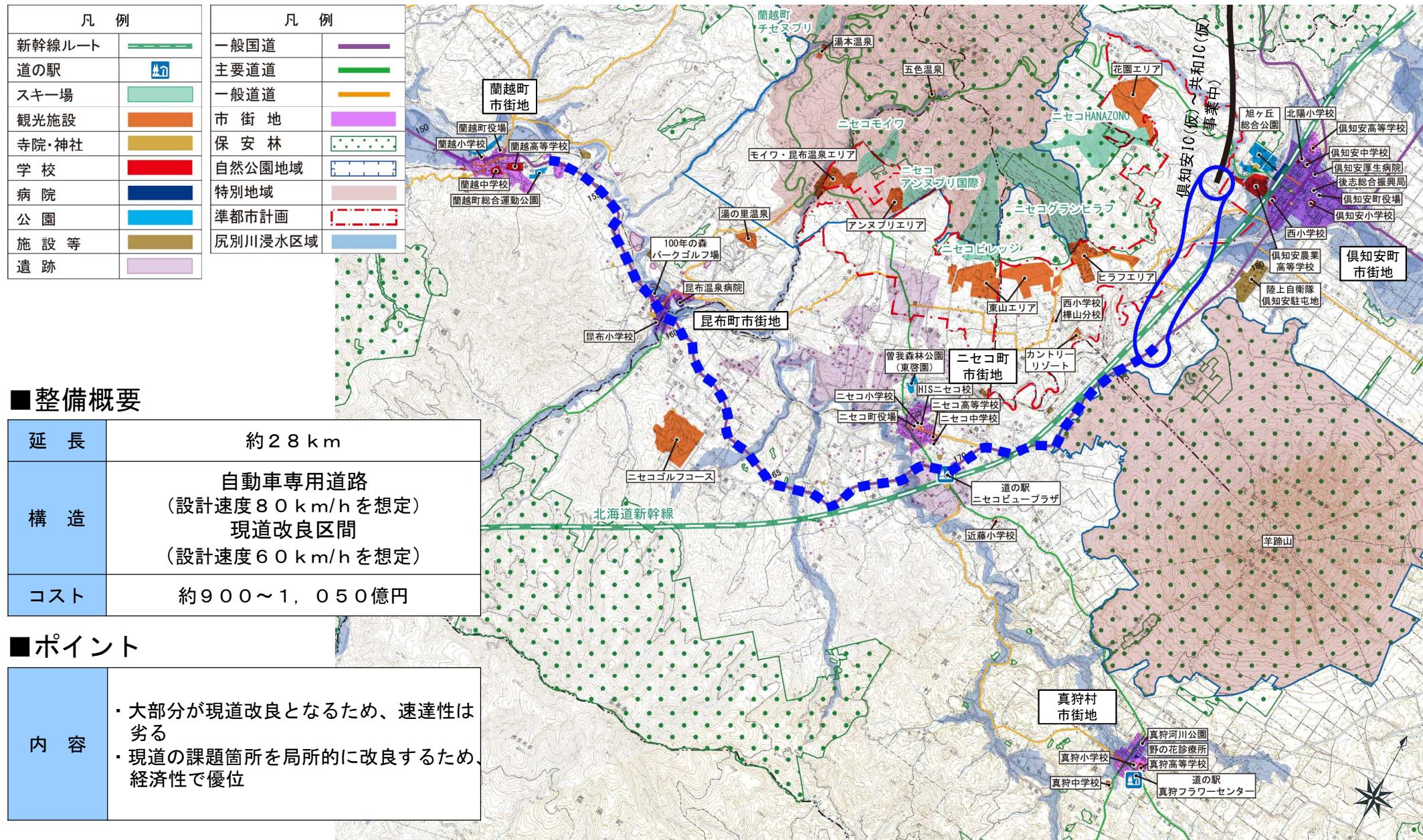
4-4) 対策案の概要(案①:別線整備ルート)

- 市街地や浸水区域など現道の課題箇所を回避しつつ、市街地へのアクセスにも配慮したルート。
- 全線新たな自動車専用道路で整備し、安全性・速達性・代替性を確保するルート。



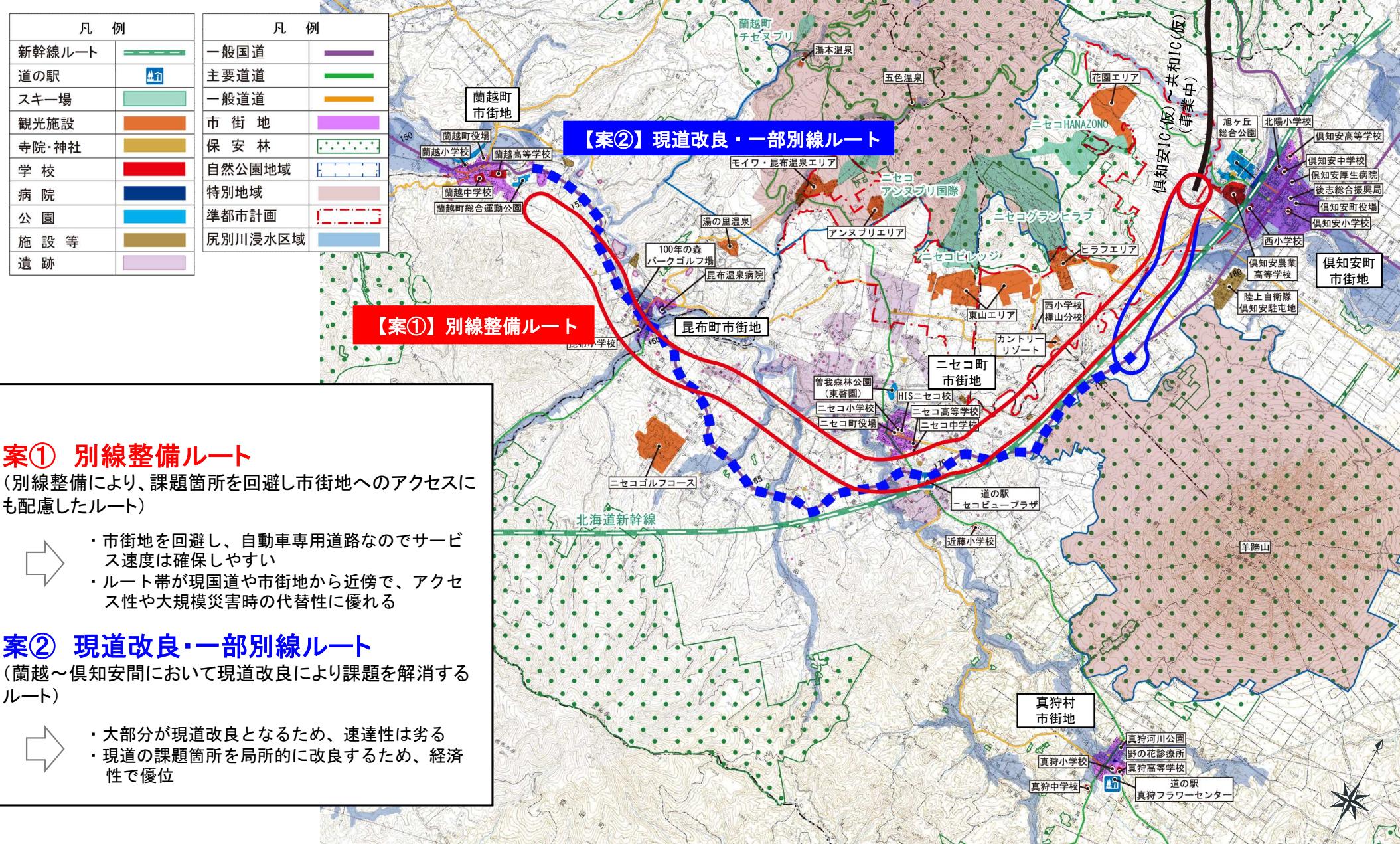
4-5) 対策案の概要(案②:現道改良・一部別線ルート)

- 俱知安市街端部に自動車専用道路で接続し、以降は現道を改良することで課題解消を図るルート。
- 現道の課題箇所を局所的に改良し、速達性・安全性を確保するルート。



4-6) 対策案のまとめ

○コントロールポイントを踏まえ、政策目標達成に必要な機能から2つの対策案を設定。



4-7) 対策案の比較

対策案の考え方		案① 別線整備ルート	案② 現道改良・一部別線ルート
政策目標	区間延長	約25km(自動車専用道路)	約28km(自動車専用道路+現道改良)
	ニセコリゾートへの速達性、安全性の向上	<p>観光拠点への速達性</p> <ul style="list-style-type: none"> (仮称)倶知安ICからニセコリゾートまでの時間短縮効果が大きい (倶知安IC~ひらふエリア 現況13分→8分 5分短縮) (倶知安IC~東山エリア 現況25分→20分 5分短縮) 	<p>蘭越市街地~倶知安市街地において、別線整備及び現道改良により課題を極力解消するルート</p> <ul style="list-style-type: none"> (仮称)倶知安ICからニセコリゾートまでの時間短縮効果が小さい (倶知安IC~ひらふエリア 現況13分→11分 2分短縮) (倶知安IC~東山エリア 現況25分→24分 1分短縮)
	各市町村間の速達性、安全性の確保	<p>移動時の安全性</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故が多発する市街地・交差点部を回避 (市街地・交差点部通過 4箇所→1箇所) 	<p>別線整備により市街地・交差点部を1箇所回避 (市街地・交差点部通過 4箇所→3箇所)</p>
	地域の暮らしを支える救急搬送の速達性、安定性の向上	<p>各市町村間移動の速達性</p> <ul style="list-style-type: none"> 蘭越町~ニセコ町~倶知安町間の時間短縮効果が大きい (現況49分→38分 11分短縮) 	<p>蘭越町~ニセコ町~倶知安町間の時間短縮効果は小さい (現況49分→41分 8分短縮)</p>
	大規模災害時や地吹雪・洪水発生における国道機能確保	<p>移動時の安全性</p> <ul style="list-style-type: none"> 線形不良区間を回避 (線形不良区間 現況3区間→0区間) 	<p>線形不良区間の対策を実施するが、沿道からの出入り交通の輻輳は解消できない (線形不良区間 現況3区間→0区間)</p>
	地吹雪やスタックに対する国道機能確保	<p>高次医療機関への速達性</p> <ul style="list-style-type: none"> 蘭越町から倶知安厚生病院までの時間短縮効果が大きい (蘭越町~倶知安厚生病院 現況45分→30分 15分短縮) 	<p>蘭越町から倶知安厚生病院までの時間短縮効果が小さい (蘭越町~倶知安厚生病院 現況45分→36分 9分短縮)</p>
	洪水に対する国道機能の確保	<p>搬送時の安定性</p> <ul style="list-style-type: none"> 線形不良区間・郊外部交差点、市街地の信号交差点を回避 (線形不良区間・郊外部交差点 現況3区間・2箇所→0区間・0箇所) (市街地の信号交差点 現況19箇所→12箇所) 	<p>別線整備により信号交差点を5箇所回避、線形不良区間の対策を実施 (線形不良区間・郊外部交差点 現況3区間・2箇所→0区間・2箇所) (市街地の信号交差点 現況19箇所→14箇所)</p>
	地域への影響	<p>地吹雪やスタックに対する国道機能確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 地吹雪発生区間やスタック発生箇所を回避 (地吹雪 現況2区間→0区間、スタック 現況2箇所→0箇所) 	<p>地吹雪発生区間やスタック発生箇所で現道対策を実施 (地吹雪 現況2区間→0区間、スタック 現況2箇所→0箇所)</p>
	環境への影響	<p>洪水に対する国道機能の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 洪水浸水想定区域を回避し、確実に通行可能 (洪水浸水想定区域 現況4.7km→0km) 	<p>現道の嵩上げにより洪水浸水を防ぎ、確実に通行が可能であるほか、道路空間を緊急避難所として活用可能 (洪水浸水想定区域 4.7kmを嵩上げ)</p>
配慮すべき事項	家屋や土地利用への影響	<p>自然環境への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地を極力回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は案②より小さい 	<p>現道の市街地部分を含め改良するため、沿道家屋や土地利用への影響が非常に大きい</p>
	自然環境への影響	<p>工事中の現道交通への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能 	<p>延長の大部分を現道改良するため、自然環境への影響は小さい</p>
	工事中の現道交通への影響	<p>経済性・概算事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> 別線整備のため、工事中の現道交通への影響は小さい 	<p>国道の通行規制や沿道利用の現道交通への影響が非常に大きい</p>
	経済性	<p>全線別線整備であり、案②より経済性で劣る</p> <p>約1,000~1,200億円</p>	<p>現道改良の延長が長く、経済性で優位</p> <p>約900~1,050億円</p>
整備イメージ		<p>別線整備ルート (Case 1): 現道 (グレー)、別線区間 (赤い折線)。このルートは、市街地を迂回する形で走行します。</p>	<p>現道改良・一部別線ルート (Case 2): 現道 (グレー)、別線区間 (青い折線)、現道活用区間 (青い点線)。このルートでは、現道を改良して直線的に走行する部分があります。</p>

※上記の時間短縮等の数値については、概略延長に対して設計速度を用いて試算した値であり、今後の詳細なルート・構造検討や接続位置等により変更となる場合があります。

5. 第2回地域意見聴取方法

5-1) 第2回地域意見聴取方法

■意見聴取の基本方針

- 「比較ルート帯（案）」「配慮すべき事項」に対し意見を伺う。

■アンケート配布範囲

- :アンケート対象範囲
■:国道5号
■:一般国道



■意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法

【自治体及び団体代表者】			
ヒアリング	沿線自治体等	後志総合振興局、俱知安町、二セコ町、蘭越町、寿都町、島牧村、黒松内町、真狩村	
	各団体	商工会議所(1箇所)、商工会(6箇所) 農業協同組合(1箇所)、漁業協同組合(1箇所) 北海道トラック協会、札幌地区トラック協会 運輸事業者(2社)、バス事業者(2社)、レンタカー事業者(1社)、タクシー事業者(2社) 北海道観光振興機構、観光協会(3箇所) 消防本部(2箇所)、病院(4箇所)	
【地域住民及び道路利用者】			
アンケート	地域住民	俱知安町(全戸:約8,100戸)、二セコ町(全戸:約2,500戸)、蘭越町(全戸:約2,100戸)、寿都町(全戸:約1,400戸)、島牧村(全戸:約700戸)、黒松内町(全戸:約1,300戸)、真狩村(全戸:約900戸)	郵送配布調査(約17,000戸)
	道路利用者	7自治体の役場、道の駅7箇所(くろまつない、よってけ！島牧、みなとま～れ寿都、らんこし・ふるさとの丘、シェルプラザ・港、ニセコビュープラザ、真狩フラワーセンター)、まちの駅ぷらっと(俱知安町)、スキー場(4箇所)	常設の留置きアンケート調査
	広域的な利用者		Webアンケート調査
	観光客	観光施設等(観光施設、道の駅等)	インタビュー形式でのアンケート調査

5-2) 第2回地域意見聴取方法

■ヒアリングの調査項目と活用方針

ヒアリングの調査項目	ヒアリング結果の活用	備考
自治体や各団体、観光客への意見聴取	<ul style="list-style-type: none">・地域や道路の課題に関し、自治体や各団体、観光客への意見聴取を行い、政策目標の設定に反映する。・自治体や各団体、観光客との認識の整合性の確認をする。	共通

■アンケートの調査項目と活用方針

アンケートの調査項目	アンケート結果の活用	備考
地域の課題	将来を見据えた改善すべき地域の課題について、回答者の考えを把握する。	第1回
道路の課題	高規格道路の調査中区間(蘭越～俱知安)及び並行する国道5号の現状について、回答者の考える課題を把握する。	
その他自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。	
比較ルート帯(複数案)に対する意見	ルート帯、インターチェンジ選定にあたり、地域住民等が重視する視点、配慮すべき事項を把握する	第2回
その他自由意見	その他、各区間にに関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。	
回答者の属性、利用状況	回答結果の差異に対して各分野で整理し、分析する。	共通

5-3) 第2回アンケート調査(案)

■第2回アンケートにおける調査方法および質問内容

①調査概要

→ ○本調査の趣旨・調査対象箇所について説明

北海道横断自動車道 根室線（蘭越～俱知安間）における 道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道（根室線）は、黒松内町を起点として、札幌市、帯広市、北見市等を経由し、根室市へ至る道路であり、蘭越～俱知安間はその一部区間となります。主要な観光拠点、港湾や空港等を高規格道路で結ぶことにより、後志管内やその周辺地域の産業等の発展、また救急医療サービス向上など、地域の生活を支援する重要な路線として整備を進めています。

本アンケートは、このうちの蘭越～俱知安間の道路計画にあたり、計画づくりの初期段階から地域の皆様へ情報提供を行うとともに、広くご意見をお聞きし、それを計画に反映していくための取り組みとして実施するものです。

令和3年12月から令和4年3月かけて実施しました第1回意見聴取では、地域の皆様が日頃感じている地域の課題や、必要な道路機能についてご意見を頂きました。ご協力ありがとうございました。

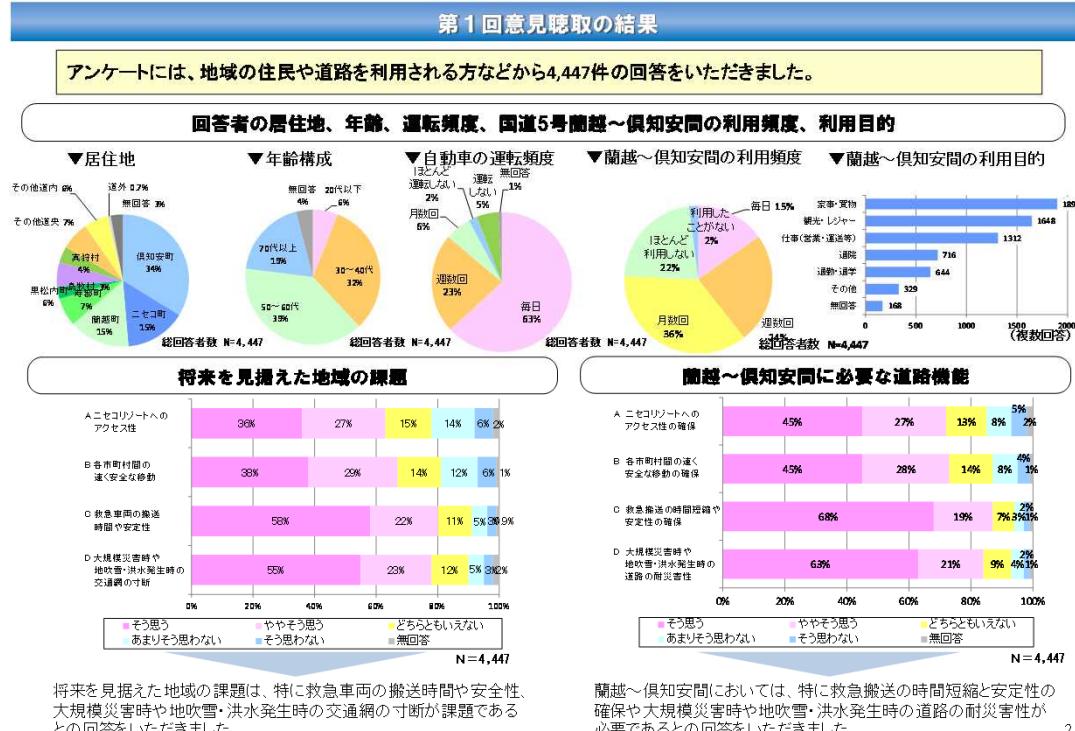
今回の第2回意見聴取では、ルート検討にあたり重視すべき点や配慮すべき点についてお聞きしますので、本アンケートにご協力いただけますよう、宜しくお願いいたします。

■このアンケートでは、蘭越～俱知安間のことについてお伺いします。



②第1回アンケート調査の結果

→ ○「将来を見据えた地域の課題」、「蘭越～俱知安間に必要な道路」について集計結果を提示



5-4) 第2回アンケート調査(案)

■第2回アンケートにおける調査方法および質問内容

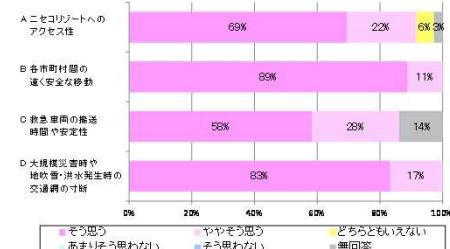
③第1回意見聴取（ヒアリング）の結果

➡ ○設定した政策目標等に対する意見を提示

第1回意見聴取の結果

ヒアリング調査では、沿線自治体や各団体から36件の回答をいただきました。

将来を見据えた地域の課題



蘭越～俱知安間に必要な道路機能



将来を見据えた地域の課題は、特に各市町村間の速く安全な移動や大規模災害時や地吹雪・洪水発生時の交通網の寸断が課題であるとの回答をいただきました。

第1回アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

○多くの道路関係者や各団体の皆様が地域の課題に対して道路整備の必要性を感じています。

○特に、速達性や安定性、災害時における道路の機能確保に対して多く回答を頂きました。

頂いた意見を踏まえ政策目標を設定しました

蘭越～俱知安間に必要とされる政策目標

- ニセコリゾートへの速達性、安全性の向上
- 各市町村間の速達性、安全性の確保
- 地域の暮らしを支える救急搬送の速達性、安定性の向上
- 大規模災害時や地吹雪・洪水発生時における国道機能確保

3

④課題解決のための対策案

➡ ○対象地域における課題解決のための対策案の提示

課題解決のための対策案

○第1回地域意見聴取で地域の課題、蘭越～俱知安間に必要な道路機能について確認したことから、政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を踏まえ、以下のような2つの対策案を設定。

政策目標

ニセコリゾートへの速達性、安全性の向上

各市町村間の速達性、安全性の確保

地域の暮らしを支える救急搬送の速達性、安定性の向上

大規模災害時や地吹雪・洪水発生時ににおける国道機能確保

政策目標達成に必要な機能

- ・観光拠点への速達性の高い道路
- ・市街地を回避し、安全に移動できる道路

- ・各市町村間移動の速達性が高い道路
- ・線形不良区間を回避し、安全に移動できる道路

- ・医療拠点である俱知安町への速達性の高い道路
- ・搬送時の安定性が高い道路

- ・大規模災害時や地吹雪・洪水発生時においても機能する道路

配慮すべきポイント

- ・地域への影響
- ・環境への影響
- ・工事中の影響
- ・経済性

別線整備ルート

別線整備により、課題箇所を回避し市街地へのアクセスに配慮したルート

現道改良・一部別線ルート

蘭越～俱知安間において現道改良により課題を解消するルート

凡 例
市街地・集落
現道
別線整備
現道改良

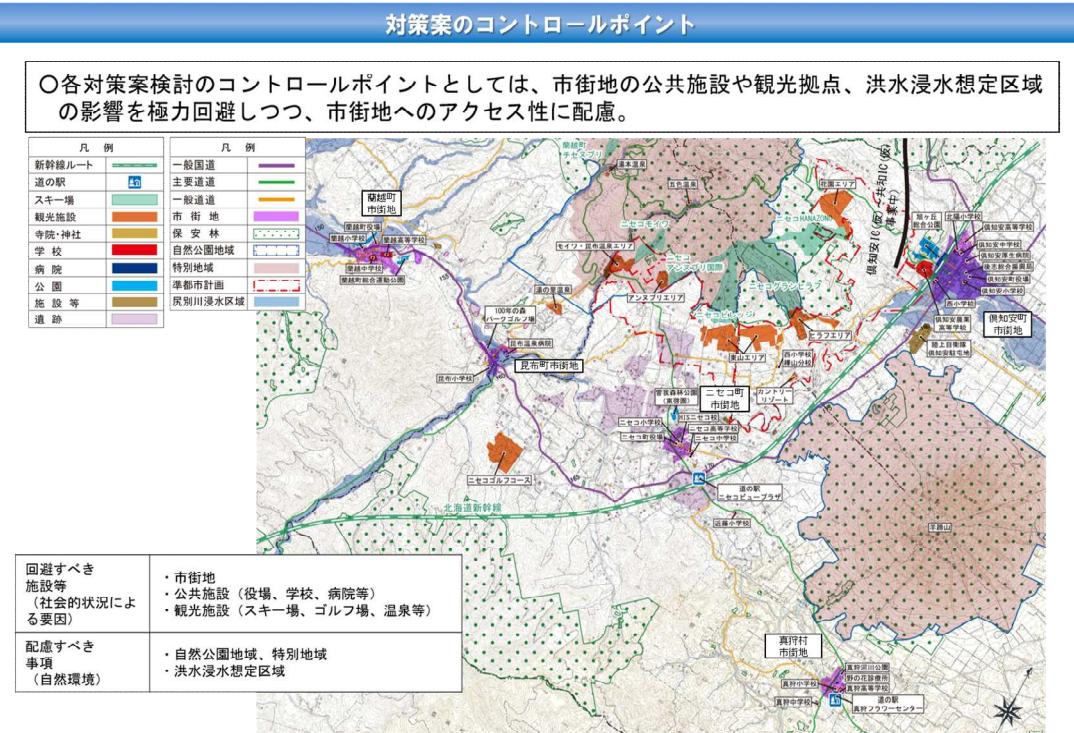
4

5-5) 第2回アンケート調査(案)

■第2回アンケートにおける調査方法および質問内容

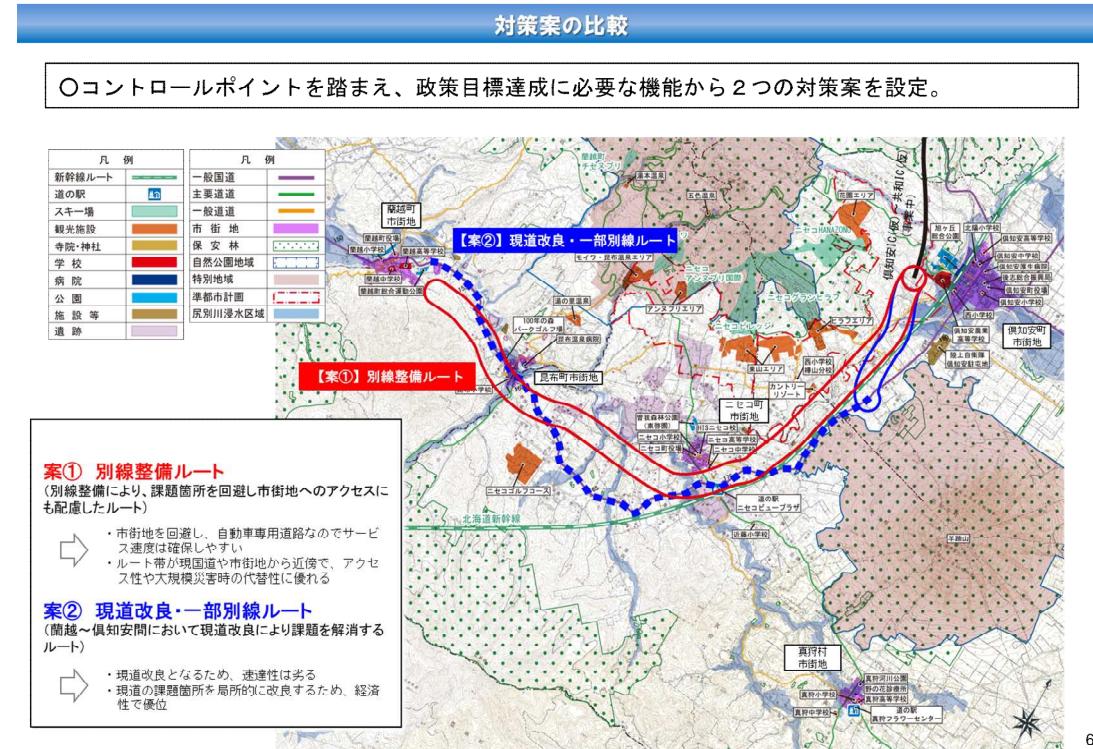
⑤対策案のコントロールポイント

➡ ○対策案の検討にあたってのコントロールポイントを提示



⑥対策案の比較

➡ ○各対策案を提示



5-6) 第2回アンケート調査(案)

■第2回アンケートにおける調査方法および質問内容

⑦対策案の比較表

➡ ○対策案の内容・効果・影響の比較結果の提示

対策案の比較表			
対策案の考え方		案① 別線整備ルート	案② 現道改良・一部別線ルート
区間延長		別線整備により課題箇所を回避し、市街地へのアクセスに配慮したルート 約25km(自動車専用道路)	蘭州市街地～俱知安市街地において、別線整備及び現道改良により課題を極力解消するルート 約28km(自動車専用道路+現道改良)
政策目標	ニセコリゾートへの速達性、安全性の向上	観光拠点への速達性 ・(仮称) 俱知安ICからニセコリゾートまでの時間短縮効果が大きい (俱知安IC～ひらふエリア 現況13分→8分 5分短縮) (俱知安IC～東山エリア 現況25分→20分 5分短縮)	蘭州市街地～俱知安市街地において、別線整備及び現道改良により課題を極力解消するルート 約28km(自動車専用道路+現道改良) ・(仮称) 俱知安ICからニセコリゾートまでの時間短縮効果が小さい (俱知安IC～ひらふエリア 現況13分→11分 2分短縮) (俱知安IC～東山エリア 現況25分→24分 1分短縮)
	各市町村間移動の速達性、安全性の確保	移動時の安全性 ・事故が多発する市街地・文差点部を回避 (市街地・文差点部通過4箇所→1箇所)	・別線整備により市街地・文差点部を1箇所回避 (市街地・文差点部通過4箇所→3箇所)
	地域の暮らしを支える救急搬送の速達性、安定性の向上	各市町村間移動の速達性 ・蘭越町～ニセコ町～俱知安町間の時間短縮効果が大きい (現況49分→38分 11分短縮)	・蘭越町～ニセコ町～俱知安町間の時間短縮効果は小さい (現況49分→41分 8分短縮)
	地域の暮らしを支える救急搬送の速達性、安定性の向上	移動時の安全性 ・線形不良区間を回避 (線形不良区間 現況3区間→0区間)	・線形不良区間の対策を実施するが、沿道からの出入り交通の転轍は解消できない (線形不良区間 現況3区間→0区間)
	大規模災害時や地吹雪・洪水発生時ににおける国道機能確保	高次医療機関への速達性 ・蘭越町から俱知安厚生病院までの時間短縮効果が大きい (蘭越町～俱知安厚生病院 現況45分→30分 15分短縮)	・蘭越町から俱知安厚生病院までの時間短縮効果が小さい (蘭越町～俱知安厚生病院 現況45分→36分 9分短縮)
	大規模災害時や地吹雪・洪水発生時ににおける国道機能確保	搬送時の安定性 ・線形不良区間・郊外部交差点、市街地の信号交差点を回避 (線形不良区間・郊外部交差点 現況3区間・2箇所→0区間・0箇所) (市街地の信号交差点 現況19箇所→12箇所)	・別線整備により信号交差点を5箇所回避、線形不良区間の対策を実施 (線形不良区間・郊外部交差点 現況3区間・2箇所→0区間・2箇所) (市街地の信号交差点 現況19箇所→14箇所)
	大規模災害時や地吹雪・洪水発生時ににおける国道機能確保	地吹雪やスタックに対する国道機能確保 ・地吹雪発生区間やスタック発生箇所を回避 (地吹雪 現況2区間→0区間、スタック 現況2箇所→0箇所)	・地吹雪発生区間やスタック発生箇所で現道対策を実施 (地吹雪 現況2区間→0区間、スタック 現況2箇所→0箇所)
	大規模災害時や地吹雪・洪水発生時ににおける国道機能確保	洪水に対する国道機能の確保 ・洪水に対する国道機能の確保 ・洪水浸水想定区域を回避し、確実に通行可能 (洪水浸水想定区域 現況4.7km→0km)	・現道の嵩上げにより洪水浸水を防ぎ、確実に通行が可能であるほか、道路空間を緊急避難所として活用可能 (洪水浸水想定区域 4.7km→嵩上げ)
配慮すべき事項	地域への影響	家屋や土地利用への影響 ・市街地を極力回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は案②より小さい	・現道の市街地部分を含め改良するため、沿道家屋や土地利用への影響が非常に大きい
	環境への影響	自然環境への影響 ・地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能	・延長の大部分を現道改良するため、自然環境への影響は小さい
	工事中の影響	工事中の現道交通への影響 ・別線整備のため、工事中の現道交通への影響は小さい	・国道の通行規制や沿道利用の現道交通への影響が非常に大きい
	経済性	経済性・概算事業費 ・全線別線整備であり、案②より経済性で劣る 約1,000～1,200億円	・現道改良の延長が長く、経済性で優位 約900～1,050億円
整備イメージ		<p>■:現道 ○:別線区間</p>	<p>■:現道 ○:別線区間 △:現道区間</p>

※上記の時間短縮等の数値については、概略延長に対して設計速度を用いて試算した値であり、今後の詳細なルート・構造検討や接続位置等により変更となる場合があります。 7

5-7) 第2回アンケート調査(案)

■質問内容・回答欄

質問1 対策案（ルート帯案）の検討にあたって、どの項目を重視すべきだと思いますか？

次のA～Fの項目それについて、「特に重視すべき」～「重視する必要はない」の 当てはまる箇所1つに○をつけてください。		特に重視 すべき	やや重視 すべき	どちらとも いえない	あまり重視 する必要は ない	重視する 必要はない
A ニセコリゾートへの移動時間の短縮	1 2 3 4 5	1	2	3	4	5
B 各市町村間の移動時間の短縮	1 2 3 4 5	1	2	3	4	5
C 急カーブやアップダウン・信号箇所の回避	1 2 3 4 5	1	2	3	4	5
D 医療拠点への搬送時間の短縮	1 2 3 4 5	1	2	3	4	5
E 地吹雪区間の回避	1 2 3 4 5	1	2	3	4	5
F 災害時の迅速な啓開・復旧活動と避難時のアクセス性	1 2 3 4 5	1	2	3	4	5

回答は返信はがきに記入願います

質問2 対策案（ルート帯案）の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

次のA～Dの項目それについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の 当てはまる箇所1つに○をつけてください。		特に配慮 すべき	やや配慮 すべき	どちらとも いえない	あまり配慮 する必要は ない	配慮する 必要はない
A 家屋や施設など地域への影響が小さいこと	1 2 3 4 5	1	2	3	4	5
B 自然環境への影響が小さいこと	1 2 3 4 5	1	2	3	4	5
C 工事中の交通規制による影響が小さいこと	1 2 3 4 5	1	2	3	4	5
D 建設に要する費用が安いこと	1 2 3 4 5	1	2	3	4	5

回答は返信はがきに記入願います

質問3 案①の場合、インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？

次のA～Dの項目それについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の 当てはまる箇所1つに○をつけてください。		特に配慮 すべき	やや配慮 すべき	どちらとも いえない	あまり配慮 する必要は ない	配慮する 必要はない
A 主要な観光拠点に円滑にアクセスできること	1 2 3 4 5	1	2	3	4	5
B 市街地から円滑にアクセスできること	1 2 3 4 5	1	2	3	4	5
C 医療拠点に円滑にアクセスできること	1 2 3 4 5	1	2	3	4	5
D 防災拠点に円滑にアクセスできること	1 2 3 4 5	1	2	3	4	5

回答は返信はがきに記入願います

質問4 その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

回答は返信はがきに記入願います

5-8) 第2回アンケート調査(案)

- 回答は同封の郵便はがきにご記入ください。
- 回答用の郵便はがきは、切手を貼らずに最寄りの郵便ポストへ投函して下さい。
なお、投かんは令和●年●月●日（●）までにお願いします。
- インターネットによる回答も可能になっておりますので、下記アドレスからアクセス願います。
北海道横断自動車道 蘭越～俱知安間 道路計画に関する意見聴取 Web回答用ページ
<http://oooo>
※小樽開発建設部ホームページからもアクセス可能です。

QR
コード

アンケートの記入例



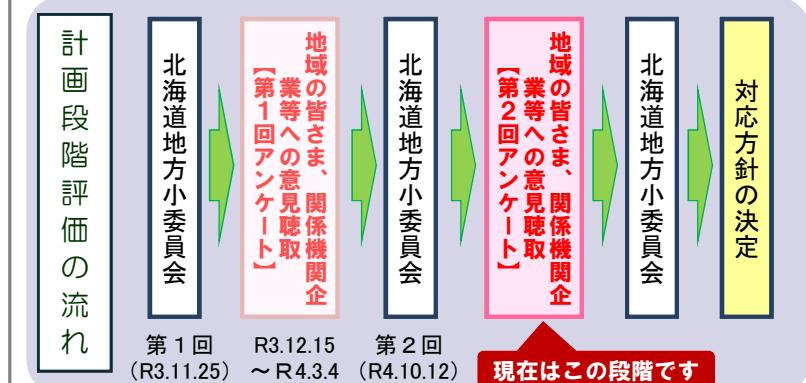
見本

■あなた自身のことについて(記入または該当する番号に○印)						
住所 〒000-0000 北海道 虹田 市・郡 俱知安 町・村						
性別	①男性	②女性	年齢:	40 歳		
職業	①会社員	②公務員	③農業	④漁業	⑤林業	⑥観光業 ⑦学生
	⑧主婦	⑨物流・輸送	⑩商業	⑪工業	⑫無職	⑬その他()
■自動車を運転する頻度を教えてください(該当する1つに○)						
①毎日	②週数回	③月数回	④ほとんど運転しない	⑤運転しない		
■国道5号蘭越～俱知安間の利用頻度を教えてください(該当する1つに○)						
①毎日	②週数回	③月数回	④ほとんど利用しない	⑤利用したことがない		
■蘭越～俱知安間の主な利用目的を教えてください(該当する全てに○)						
①通勤・通学	②通院	③家事・買物	④仕事(営業・運送等)	⑤観光・レジャー	⑥その他()	
■前回の第1回アンケートに回答しましたか(どちらかに○)						
①回答した	②回答していない					

- アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針を地域の声（地域の皆様、道路利用者、関係団体）を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



アンケートについてのお問い合わせ先

<調査主体>

北海道開発局 小樽開発建設部 道路計画課

北海道横断自動車道 蘭越～俱知安間

道路計画に関する意見聴取係

〒047-8555 北海道小樽市潮見台1丁目15番5号

電話 0134-23-7463



国土交通省

安全で快適な地域づくりのために
みなさまのご意見をお待ちしております。



本調査は、後志地域の道路計画について地域にお住まいの皆さんや道路利用者のご意見を広くお聞きすることを目的とするものです。

そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。（法令により開示を求められた場合を除きます）